

令和3年度

寒川町子ども・子育て支援事業計画進行管理票

計画進行管理集計表（R3年度）

■各施策事業の実績

評価方法：事業の主管課による3段階の評価ランク付け

評価ランク

A＝目標達成・目標に向け順調

B＝目標に向け遅延

C＝未実施・廃止の方向

事業番号1～95

基本目標	事業数	評価ランク			
		A	B	C	設定なし
基本目標1 子育て家庭の支援	35	23	7	2	3
基本目標2 母子の健康の確保と増進	13	11	2	0	0
基本目標3 教育環境の整備	9	4	5	0	0
基本目標4 子育てを支援する生活環境の整備	20	13	2	1	4
基本目標5 要支援家庭への取り組み	18	13	1	0	4
計	95	64	17	3	11

※全95事業中、再掲は、11事業

■基本目標別事業の実績

基本目標1 子育て家庭の支援

事業番号1～35

施策名	事業数	評価ランク			
		A	B	C	設定なし
① 地域での子育て家庭の支援	24	15	7	2	0
② 仕事と子育ての両立	2	2	0	0	0
③ 子育て家庭への経済的支援の充実	9	6	0	0	3
計	35	23	7	2	3

A評価で方向性が拡大なもの

24「公民館講座開催事業」…講座内容の検討や他課との連携

B評価の理由

- 1「児童クラブ運営事業」…入所児童数の未達成
- 2「保育所運営事業（通常保育事業）」…定員に対する児童入園率の未達成
- 5「一時保育事業（幼稚園型を除く）」…確保提供量の未達成
- 6「子育て支援センター事業」…延べ利用人数の未達成
- 8「民生委員児童委員活動事業」…「子育てひろば」の開催回数の未達成
- 13「子育て支援プログラム実施事業」…受講者数の未達成
- 19「寒川総合体育館運営管理事業」…体育館利用者数の未達成

C 評価の理由

- 9 「(仮称)健康福祉総合センター検討・建設事業」…事業廃止
- 20 「青少年育成事業」…事業未実施

設定なし

- 31 「小児慢性特定疾病医療費助成」…神奈川県所管
- 34 「生活保護制度」…神奈川県所管
- 35 「生活困窮者自立相談支援事業」…神奈川県所管

基本目標2 母子の健康の確保と増進

事業番号36～48

施策名	事業数	評価ランク			
		A	B	C	設定なし
① 母と子の健康づくり	11	10	1	0	0
② 保健医療の充実	2	1	1	0	0
計	13	11	2	0	0

B 評価の理由

- 46 「不育症治療補助事業」…助成対象者の減少
- 48 「母子予防接種事業」…平均予防接種率の減少

基本目標3 教育環境の整備

事業番号49～57

施策名	事業数	評価ランク			
		A	B	C	設定なし
① 学校教育の充実	4	3	1	0	0
② 幼児教育の充実	2	0	2	0	0
③ 家庭や地域の教育力の向上	3	1	2	0	0
計	9	4	5	0	0

※9事業中、再掲2事業

A 評価で方向性が拡大のもの

- 50 「教育コンピュータ活用事業（小学校・中学校）」…情報化対応機器の整備
- 55 「公民館講座開催事業」（再掲）…講座内容の検討や他課との連携

B 評価の理由

- 52 「教職員の資質向上事業」…研修会等参加人数の未達成
- 53 「子ども読書ふれあい事業」…実施回数・参加人数の未達成
- 54 「子育て支援センター事業」（再掲）…延べ利用人数の未達成
- 56 「青少年指導員活動事業」…研修等参加人数の減少
- 57 「さむかわゆうゆう学園事業」…修了証交付者数の未達成

基本目標4 子育てを支援する生活環境の整備

事業番号58～77

施策名	事業数	評価ランク			
		A	B	C	設定なし
① バリアフリーのまちづくり	3	1	0	0	2
② 安全・安心まちづくり	11	9	0	0	2
③ 子どもの遊び場の確保	6	3	2	1	0
計	20	13	2	1	4

※20事業中、再掲3事業

A評価で方向性が拡大のもの

73「新・放課後子ども総合プラン推進事業」…ふれあい塾の開催日数増を検討

B評価の理由

74「子育て支援センター事業」(再掲)…延べ利用人数の未達成

76「児童遊び場の整備」…遊具の老朽化への対応を検討

C評価の理由

72「ふれあい塾運営事業」…事業未実施

設定なし

58「公共施設のバリアフリー化の情報提供」…法改正等の情報提供

60「JR相模線倉見駅バリアフリー整備事業」…R2で整備完了し事業終了

65「子どもを守るための活動の推進」…ハートの家事業 PTA連絡協議会主催

68「薬物乱用防止啓発事業」…青少年環境浄化推進協議会主催事業

基本目標5 要支援家庭への取り組み

事業番号78～95

施策名	事業数	評価ランク			
		A	B	C	設定なし
① 児童虐待の防止	4	3	1	0	0
② ひとり親家庭への支援	5	4	0	0	1
③ 障害児施策の充実	9	6	0	0	3
計	18	13	1	0	4

※18事業中、再掲6事業

A評価で方向性が拡大のもの

93「特別支援教育推進事業(小学校・中学校)」…補助員の増員に向けて検討

B評価の理由

79「子育て支援センター事業」(再掲)…延べ利用人数の未達成

設定なし

82「児童扶養手当」…神奈川県所管

88「障害児福祉手当」…神奈川県所管

89「特別児童扶養手当」…神奈川県所管

90「特別支援学校へのタブレット端末の配置」…R2 で一人 1 台の端末導入が完了し事業終了

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	1 子育て家庭の支援	担当課等名	学び推進課			
2. 施策の基本的方向	1 地域での子育て家庭の支援					
3. 事業名	1 児童クラブ運営事業					
4. 事業内容	保護者が労働等により放課後昼間家庭にいない児童に、放課後の適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全な育成を推進する。					
5. 事業番号(再掲含む)	1					
6. 現状と課題	児童クラブへの入所希望者は、増加の傾向にあり、良好な環境づくりを維持していくためにも、計画的な施設整備が必要となる。また、利用者ニーズに応じた開所時間の延長について検討していく必要がある。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		入所児童数				
\	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	入所児童数(人)	230	270	301	309	315
実績値	入所児童数(人)	226	247			
達 成 率 (%)		98.3	91.5	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		B	B			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小		1: 拡大	1: 拡大			
2: 維持 5: 終了						
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		旭小学校区に新たな児童クラブを開所し、同学校区内の待機児童は解消された。また、次年度に向けて小谷小学校区の待機児童を解消する取り組みを行ったが、他の学校区においては、待機児童を解消する取り組みが実施できなかったため。				
8. 備 考		令和2年度担当課等: 保育・青少年課				
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	1 まちづくりの原動力となるひとづくり			
		政策(節)	1 子育て・子育て・教育の推進			
		施策(項)	1 子育て支援の充実			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	1 子育て家庭の支援	担当課等名	子育て支援課			
2. 施策の基本的方向	1 地域での子育て家庭の支援					
3. 事業名	2 保育所運営事業(通常保育事業)					
4. 事業内容	保護者の就労等により、保育が必要な児童の保育を実施する。					
5. 事業番号(再掲含む)	2					
6. 現状と課題	年度当初より定員を超えた児童の受け入れができていない。 0歳から2歳については毎年入園希望者が多く、4歳から5歳については、年により希望者が大きく増減する。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		確保提供量(定員数) 定員に対する児童入園率				
	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	確保提供量(人)	704	704	704	704	704
	定員に対する児童入園率(%)	120	120	120	120	120
実績値	確保提供量(人)	704	704			
	定員に対する児童入園率(%)	108	101			
達 成 率 (%)		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
		90.0	84.2	0.0	0.0	0.0
評価		A	B			
A : 目標達成・目標に向けて順調 B : 目標に向けて遅延 C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性		2:維持	2:維持			
1:拡大 4:縮小 2:維持 5:終了 3:改善 6:廃止						
評価の理由		待機児童がいるなかで、定員に対する児童入園率は計画値120%に満たないが保育所等では面積要件、保育士配置基準を満たす範囲内でより多くの児童を受け入れている。入所希望園に偏りがあり、定員に満たない施設も複数ある。				
8. 備 考	令和2年度担当課等: 保育・青少年課					
9. 総合計画2040での位置付け	基本目標(章)	1 まちづくりの原動力となるひとづくり				
	政策(節)	1 子育て・子育て・教育の推進				
	施策(項)	1 子育て支援の充実				

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	1 子育て家庭の支援	担当課等名	子育て支援課			
2. 施策の基本的方向	1 地域での子育て家庭の支援					
3. 事業名	3 延長保育事業					
4. 事業内容	保護者の就労形態の多様化に対応し、保育時間を超えて保育することについて支援する。					
5. 事業番号(再掲含む)	3					
6. 現状と課題	町内の4保育園では、延長保育時間を含む12時間の保育を実施している。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		実施箇所(園)数 確保提供量(実人数)				
	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	実施箇所(園)数(箇所)	4	4	4	4	4
	確保提供量(人)	350	350	340	340	330
実績値	実施箇所(園)数(箇所)	4	4			
	確保提供量(人)	328	352			
達 成 率 (%)		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
		93.7	100.6			
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		町内認可保育所においては全て実施している。事業を実施している施設に対して補助金を交付することで事業の維持・継続が図られている。				
8. 備 考	令和2年度担当課等: 保育・青少年課					
9. 総合計画2040での位置付け	基本目標(章)	1 まちづくりの原動力となるひとづくり				
	政策(節)	1 子育て・子育て・教育の推進				
	施策(項)	1 子育て支援の充実				

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	1 子育て家庭の支援	担当課等名	子育て支援課			
2. 施策の基本的方向	1 地域での子育て家庭の支援					
3. 事業名	4 一時預かり事業(幼稚園型)					
4. 事業内容	町内幼稚園で幼児教育時間の前後、長期休暇中に、預かり保育を実施します。					
5. 事業番号(再掲含む)	4					
6. 現状と課題	園によって預かり保育の実施日、時間などの状況は異なる。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		確保提供量(延べ人数)				
指標の名称(単位)	数 値					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値	確保提供量(人)	12,600	12,600	12,600	12,600	
実績値	確保提供量(人)	12,354	17,911			
達成率(%)		98.0	142.2	0.0	0.0	
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		幼児教育・保育の無償化が始まった令和元年度は利用者が増となったが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で預けることを控える傾向にあった。令和3年度は利用者が増となった。				
8. 備 考	令和2年度担当課等: 保育・青少年課					
9. 総合計画2040での位置付け	基本目標(章)	1 まちづくりの原動力となるひとづくり				
	政策(節)	1 子育て・子育て・教育の推進				
	施策(項)	1 子育て支援の充実				

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	1 子育て家庭の支援	担当課等名	子育て支援課		
2. 施策の基本的方向	1 地域での子育て家庭の支援				
3. 事業名	5 一時保育事業(幼稚園型を除く)				
4. 事業内容	日頃、保育所を利用していなくても、一時的に子どもを預かる事業を行う。				
5. 事業番号(再掲含む)	5				
6. 現状と課題	平成28年度末に新たに3園が一時保育を開始し、町内認可保育所4園全てで実施している。				
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		確保提供量(延べ人数)			
指 標の名称(単位)	数 値				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	確保提供量(人)	700	700	700	700
実績値	確保提供量(人)	152	371		
達 成 率 (%)		21.7	53.0	0.0	0.0
評価		A : 目標達成・目標に向けて順調	B : 目標に向けて遅延	C : 未実施・廃止の方向	
今後の方向性		1: 拡大 2: 維持 3: 改善	4: 縮小 5: 終了 6: 廃止		
評価の理由		余裕活用型で各施設が実施しているため、定員を満たしていくと余裕がなく受入ができないが、令和2年度よりも増となった。			
8. 備 考	令和2年度担当課等: 保育・青少年課				
9. 総合計画2040での位置付け	基本目標(章)	1 まちづくりの原動力となるひとづくり			
	政策(節)	1 子育て・子育て・教育の推進			
	施策(項)	1 子育て支援の充実			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	1 子育て家庭の支援	担当課等名	子育て支援課			
2. 施策の基本的方向	1 地域での子育て家庭の支援					
3. 事業名	6 子育て支援センター事業					
4. 事業内容	子育て相談、子育て啓発活動、子育てサークルの育成、支援などの事業を行う。また、利用のきっかけづくりとして、定期的なイベントを開催していく。					
5. 事業番号(再掲含む)	6	54	74	79		
6. 現状と課題	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、利用者数を制限している影響で利用者が大きく減少しているところだが、支援が必要な家庭に対する相談、見守りを着実にを行うために引き続き利用しやすい環境を維持する必要がある。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		延べ利用人数				
	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	延べ利用人数(人)	9,430	9,490	9,540	9,610	9,670
実績値	延べ利用人数(人)	2,722	3,722			
達 成 率 (%)		28.9	39.2	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調						
B : 目標に向けて遅延		B	B			
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、利用者数を制限しての開所に伴い、延べ利用人数が目標に達成しなかったが、育児不安を抱える保護者に対し手紙や電話により状況の把握に努めた。 事業の目的は子育て家庭が自由に利用できるフリースペースと支援が必要な家庭に対する相談・見守りとしているため、今後も同様の事業内容で実施していくものの、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、利用者数の制限等も継続する。				
8. 備 考						
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	1 まちづくりの原動力となるひとづくり			
		政策(節)	1 子育て・子育て・教育の推進			
		施策(項)	1 子育て支援の充実			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	1 子育て家庭の支援	担当課等名	子育て支援課			
2. 施策の基本的方向	1 地域での子育て家庭の支援					
3. 事業名	7 ファミリー・サポート・センター事業					
4. 事業内容	仕事と育児の両立等のため、相互援助を会員組織により実施する。また、経済的負担の軽減策として、利用料金に対して1時間あたり200円(ひとり親家庭等、生活保護世帯は300円)の町負担を設ける。					
5. 事業番号(再掲含む)	7	85				
6. 現状と課題	まかせて会員の数がおねがい会員の数と比較して少ないことと、宿泊や急な病気など依頼に応じることが難しい内容への対応が課題となっている。 また、お子さんの成長に伴いおねがい会員からまかせて会員に登録していただけるよう促すことや、事業内容の周知に引き続き取り組むことが必要である。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		延べ利用件数				
	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	延べ利用件数(件)	1,740	1,720	1,690	1,680	1,660
実績値	延べ利用件数(件)	2,543	2,964			
達 成 率 (%)		146.1	172.3	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		延べ利用件数は前年度比117%で増となり、目標を達成した。増加の理由は、保育園の送り、学童保育の迎え等の援助が必要な会員の利用が増えたことによるもの。まかせて会員の数が少ないため、事業の周知を工夫するなど会員の増に努め、事業内容は現状どおり継続していくこととする。				
8. 備 考						
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	1 まちづくりの原動力となるひとづくり			
		政策(節)	1 子育て・子育て・教育の推進			
		施策(項)	1 子育て支援の充実			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	1 子育て家庭の支援	担当課等名	福祉課			
2. 施策の基本的方向	1 地域での子育て家庭の支援					
3. 事業名	8 民生委員児童委員活動事業					
4. 事業内容	子育てひろばを開催し、地域の子育て世帯の交流を促進する。また、地域の相談役として、町民からの相談に応じ、必要な情報提供や支援を行う。					
5. 事業番号(再掲含む)	8					
6. 現状と課題	子育て支援課が担当している「巡回ひろば」と類似している。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		子育てひろばの開催回数				
	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	子育てひろばの開催回数(回)	44	44	44	44	44
実績値	子育てひろばの開催回数(回)	7	10			
達成率(%)		15.9	22.7	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調						
B : 目標に向けて遅延		B	B			
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1:拡大 4:縮小						
2:維持 5:終了		2:維持	3:改善			
3:改善 6:廃止						
評価の理由		新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、健康管理センター以外の会場では中止となったが、令和4年度からは一部会場を変更し、感染対策を実施したうえで開催するため。				
8. 備 考						
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	—			
		政策(節)	—			
		施策(項)	—			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	1 子育て家庭の支援	担当課等名	財産管理課 福祉課			
2. 施策の基本的方向	1 地域での子育て家庭の支援					
3. 事業名	9 (仮称)健康福祉総合センター検討・建設事業					
4. 事業内容	公共施設等総合管理計画に基づき、保健福祉施設機能に加え、町民センターホールや役場の機能を含む新たな複合施設整備に向けた検討を公共施設再編計画策定と併せて進める。					
5. 事業番号(再掲含む)	9					
6. 現状と課題	公共施設再編計画策定の中で、公共施設の町の方針、方向性と併せて検討を進めていく。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		施設建設に係る取り組み				
計画値	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	取り組み	○	○	○	○	○
実績値	取り組み	○	—			
達成率(%)						
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	C			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	6: 廃止			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		<p>令和3年3月策定の「寒川町公共施設再編計画」において(仮称)健康福祉総合センター建設予定地に保健福祉の集約施設の整備を示したが、学校適正化に向けた動きや、アフターコロナ・ウィズコロナを反映した公共施設のあり方の視点、消防広域化による分署出張所整備後の現行消防庁舎の活用方法の検討等、その後の状況変化を受け、令和4年3月に集約施設の整備を白紙とした。</p> <p>一方で、令和3年3月策定の「寒川町総合計画2040」の基本構想においては、さむかわ中央公園周辺を「にぎわい交流創出ゾーン」として位置付けている。</p> <p>こうした状況を踏まえ、現状では保健福祉の集約施設の整備を「白紙」としたことへの対応策として、これまでにない視点で、「にぎわい交流創出ゾーン」のビジョンを整理し、公民連携による公共施設のあり方を検討している。そのため、「(仮称)健康福祉総合センター検討・建設事業」については令和3年度をもって廃止とする。</p>				
8. 備 考	令和2年度担当課等: 福祉課					
9. 総合計画2040での位置付け	基本目標(章)	—				
	政策(節)	—				
	施策(項)	—				

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	1 子育て家庭の支援	担当課等名	福祉課		
2. 施策の基本的方向	1 地域での子育て家庭の支援				
3. 事業名	10 日中一時支援事業				
4. 事業内容	日中、福祉施設において、障がい児を一時的に預かることで、家族の一時的な休息の提供や就労機会を支援する。				
5. 事業番号(再掲含む)	10				
6. 現状と課題	町内に社会資源が少ない現状であったが、提供できる事業所も増え、加えて、町外事業所を利用できるように近隣市町と引き続き連携していく。				
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		事業所数			
指 標 名 称 (単 位)	数 値				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	事業所数(箇所) 2	2	2	2	2
実績値	事業所数(箇所) 3	4			
達 成 率 (%)	150.0	200.0	0.0	0.0	0.0
評価	A : 目標達成・目標に向けて順調 B : 目標に向けて遅延 C : 未実施・廃止の方向	A	A		
今後の方向性	1: 拡大 4: 縮小 2: 維持 5: 終了 3: 改善 6: 廃止	2: 維持	2: 維持		
評価の理由	令和3年度に新しい事業所が開所したことにより、計画値を上回る実績となっているため。				
8. 備 考					
9. 総合計画2040での位置付け	基本目標(章)	—			
	政策(節)	—			
	施策(項)	—			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	1 子育て家庭の支援	担当課等名	子育て支援課			
2. 施策の基本的方向	1 地域での子育て家庭の支援					
3. 事業名	11 養育支援訪問事業					
4. 事業内容	乳児家庭全戸訪問や関係機関からの情報収集により把握した、養育支援の必要性があると判断した家庭に対し、訪問支援を実施する。					
5. 事業番号(再掲含む)	11	80				
6. 現状と課題	子育て支援相談員が、養育支援訪問事業の訪問員として対応しているが、訪問家庭数は、年々増加していくことが見込まれるため、訪問員の人材確保等が課題となってくる。また、乳児家庭全戸訪問事業との連携が重要となっている。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		訪問家庭数(実数)、延べ訪問回数				
	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	家庭数(人)	13	14	15	16	17
	回数(回)	15	16	17	18	19
実績値	家庭数(人)	11	12			
	回数(回)	20	27			
達成率(%)		84.6	85.7	0.0	0.0	0.0
		133.3	168.8			
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		対象家庭については、町サポートネットワーク会議に諮り決定しており、近年増加傾向にあることから、計画値も増やす方向で設定しているものの、実績が増えればよいという事業ではない。対象家庭を含めて支援が必要な家庭に対しては、本事業や他の訪問等により支援ができています。				
8. 備 考						
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	1 まちづくりの原動力となるひとづくり			
		政策(節)	1 子育て・子育て・教育の推進			
		施策(項)	1 子育て支援の充実			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	1 子育て家庭の支援	担当課等名	子育て支援課			
2. 施策の基本的方向	1 地域での子育て家庭の支援					
3. 事業名	12 地域子育て環境づくり支援事業					
4. 事業内容	子育て支援に関する事業を実施する団体で、地域の実情に応じた創意工夫ある取り組み等に対する事業費の補助を行う。					
5. 事業番号(再掲含む)	12					
6. 現状と課題	町内の子育て支援事業を行う可能性のある任意団体や自治会等を想定しているが、補助制度の認知度が低い。団体の把握に努め効果的な周知を図る必要がある。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		補助団体数				
計画値	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	団体数(団体)	2	2	2	2	2
実績値	団体数(団体)	2	2			
達 成 率 (%)		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		279(つなぐ)smile湘南の不登校家庭への支援を目的とした「不登校サポートネットワーク事業」、小谷こどもカフェ運営委員会の子ども達に寄り添う温かい居場所づくりを目的とした「小谷こどもカフェ」の2団体2事業へ補助を行った。また、町広報により事業の周知を図った。				
8. 備 考						
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	—			
		政策(節)	—			
		施策(項)	—			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	1 子育て家庭の支援	担当課等名	子育て支援課			
2. 施策の基本的方向	1 地域での子育て家庭の支援					
3. 事業名	13 子育て支援プログラム実施事業					
4. 事業内容	子育て支援に悩みを抱えた家庭に対する、子育て支援プログラムを実施する。					
5. 事業番号(再掲含む)	13					
6. 現状と課題	平成26年度に県職員をファシリテーターとして試行的に事業を開催したところ、受講者から高評価を頂き、町職員をファシリテーターとして養成し、継続的に事業を実施していくこととした。1回あたり16人程度が受講することができる内容だが、託児人数も限られることから1回の定員12人として年2回開催することとしている。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		子育て支援プログラム実施回数 子育て支援プログラム受講者数(定員)				
	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	実施回数(回)	2	2	2	2	2
	受講者数(人)	24	24	24	24	24
実績値	回数	1	2			
	受講者数	9	17			
達 成 率 (%)		50.0	100.0	0.0	0.0	0.0
		37.5	70.8	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		B	B			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小		2: 維持	2: 維持			
2: 維持 5: 終了						
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		令和3年度は新型コロナウイルス感染防止のため、参加人数を9人に減らしたため、達成率が低くなった。参加者からは、「精神的に支えられる」「町で子育てを応援してくれるプログラム」「地域の中で友人ができてよかった」との意見があり、満足度が高い事業である。				
8. 備 考						
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	1 まちづくりの原動力となるひとづくり			
		政策(節)	1 子育て・子育て・教育の推進			
		施策(項)	1 子育て支援の充実			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	1 子育て家庭の支援	担当課等名	子育て支援課																		
2. 施策の基本的方向	1 地域での子育て家庭の支援																				
3. 事業名	14 子育て支援相談事業																				
4. 事業内容	子育て全般についての相談指導と育児情報の提供を行う。																				
5. 事業番号(再掲含む)	14	70	81	90																	
6. 現状と課題	子育て支援課に設置している子育て支援相談員と子育て支援センターでの子育てアドバイザーによる相談業務を実施している。相談内容は、年々複雑・多様化の傾向にあり、更に関係機関との連携や協力体制を構築していく必要がある。																				
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)																					
指 標		相談主訴への対応率																			
計画値	指標の名称(単位)	数 値																			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度															
	%	100	100	100	100	100															
実績値	%	100	100																		
達成率(%)		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0															
評価																					
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A																		
B : 目標に向けて遅延																					
C : 未実施・廃止の方向																					
今後の方向性																					
1: 拡大 4: 縮小																					
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持																		
3: 改善 6: 廃止																					
評価の理由		子育て支援センターにおける相談件数は708件、役場窓口での子育て支援相談員による相談件数は458件。相談内容は多岐にわたり長期化の傾向もあるが、相談主訴へは対応できていることからA評価とし、継続していく。																			
8. 備 考		<延べ相談件数> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 0 10px;">H30</td> <td style="padding: 0 10px;">R1</td> <td style="padding: 0 10px;">R2</td> <td style="padding: 0 10px;">R3</td> </tr> <tr> <td>支援センター</td> <td style="text-align: center;">812</td> <td style="text-align: center;">669</td> <td style="text-align: center;">560</td> </tr> <tr> <td>役場窓口</td> <td style="text-align: center;">530</td> <td style="text-align: center;">582</td> <td style="text-align: center;">485</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">708</td> <td style="text-align: center;">458</td> </tr> </table>				H30	R1	R2	R3	支援センター	812	669	560	役場窓口	530	582	485			708	458
H30	R1	R2	R3																		
支援センター	812	669	560																		
役場窓口	530	582	485																		
		708	458																		
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	1 まちづくりの原動力となるひとづくり																		
		政策(節)	1 子育て・子育て・教育の推進																		
		施策(項)	1 子育て支援の充実																		

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	1 子育て家庭の支援	担当課等名	子育て支援課			
2. 施策の基本的方向	1 地域での子育て家庭の支援					
3. 事業名	15 利用者支援事業(基本型)					
4. 事業内容	幼稚園、保育所等の施設や地域の子育て情報を集約し、利用相談や情報提供を行う。					
5. 事業番号(再掲含む)	15					
6. 現状と課題	利用者支援事業の推進については、民間の幼稚園、保育施設の情報集約が必要であり、施設関係者との定期的な連絡会の開催や施設訪問など施設関係者の協力が必要となる。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		相談主訴への対応率				
計画値	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	%	100	100	100	100	100
実績値	%	100	100			
達成率(%)		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		子どもと保護者が、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、子育て支援センターの子育てコーディネーターにより情報提供を行うなど相談者のニーズに適切に対応した。				
8. 備 考		<相談・情報提供件数> H30 R1 R2 R3 477 422 514 693				
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	1 まちづくりの原動力となるひとづくり			
		政策(節)	1 子育て・子育て・教育の推進			
		施策(項)	1 子育て支援の充実			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	1 子育て家庭の支援	担当課等名	子育て支援課																												
2. 施策の基本的方向	1 地域での子育て家庭の支援																														
3. 事業名	16 育児相談事業																														
4. 事業内容	乳幼児の成長発達を確認し、保護者の育児不安の解消を図る。																														
5. 事業番号(再掲含む)	16																														
6. 現状と課題	各種健診や相談事業の対象月齢外の相談に対応するため、育児相談を実施している。また、定例以外の来所相談や電話相談にも対応している。																														
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)																															
指 標		相談主訴への対応率																													
計画値	指標の名称(単位)	数 値																													
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																									
	%	100	100	100	100	100																									
実績値	%	100	100																												
達成率(%)		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0																									
評価																															
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A																												
B : 目標に向けて遅延																															
C : 未実施・廃止の方向																															
今後の方向性																															
1: 拡大 4: 縮小																															
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持																												
3: 改善 6: 廃止																															
評価の理由		育児相談(月2回)と子どもの心の相談、子どもの歯科相談、電話・面接相談を実施。子どもの成長発達や離乳食、母親の関わり方などの相談に応じ、保護者の不安の軽減を図った。相談については、全件対応できている。																													
8. 備 考		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: left;"><延べ相談者数></td> <td style="text-align: center;">H30</td> <td style="text-align: center;">R1</td> <td style="text-align: center;">R2</td> <td style="text-align: center;">R3</td> </tr> <tr> <td>子育て広場</td> <td style="text-align: center;">706</td> <td style="text-align: center;">509</td> <td style="text-align: center;">157</td> <td style="text-align: center;">228</td> </tr> <tr> <td>育児相談</td> <td style="text-align: center;">105</td> <td style="text-align: center;">83</td> <td style="text-align: center;">43</td> <td style="text-align: center;">78</td> </tr> <tr> <td>子どもの心</td> <td style="text-align: center;">50</td> <td style="text-align: center;">49</td> <td style="text-align: center;">77</td> <td style="text-align: center;">75</td> </tr> <tr> <td>子どもの歯</td> <td style="text-align: center;">32</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> </table> <p>* 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、子育て広場、育児相談、子どもの歯事業は、4から6月は開催せず。 子育て広場は、1回15組定員、1日に2回の入替え制で実施している。</p>					<延べ相談者数>	H30	R1	R2	R3	子育て広場	706	509	157	228	育児相談	105	83	43	78	子どもの心	50	49	77	75	子どもの歯	32	13	6	6
<延べ相談者数>	H30	R1	R2	R3																											
子育て広場	706	509	157	228																											
育児相談	105	83	43	78																											
子どもの心	50	49	77	75																											
子どもの歯	32	13	6	6																											
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	1 まちづくりの原動力となるひとづくり																												
		政策(節)	1 子育て・子育て・教育の推進																												
		施策(項)	2 子どもの育ち・発達の支援																												

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	1 子育て家庭の支援	担当課等名	子育て支援課		
2. 施策の基本的方向	1 地域での子育て家庭の支援				
3. 事業名	17 利用者支援事業(特定型)				
4. 事業内容	保育担当窓口には保育コンシェルジュを設置し、保育サービス及び幼稚園等の情報収集、情報発信、利用に関する相談業務等を行う。				
5. 事業番号(再掲含む)	17				
6. 現状と課題	保育所等及び幼稚園の類型が増え、どのようなサービスを実施する施設なのか保護者が把握したうえで希望する園を選択することができるように、保育担当窓口において複雑になっている施設の状況を理解できるように説明する必要がある。また令和元年10月から幼児教育・保育の無償化についても説明する必要がある。				
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		設置箇所数			
指 標の名称(単位)	数 値				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	設置箇所数(箇所) 1	1	1	1	1
実績値	設置箇所数(箇所) 1	1			
達成率(%)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
評価					
A : 目標達成・目標に向けて順調	A	A			
B : 目標に向けて遅延					
C : 未実施・廃止の方向					
今後の方向性					
1: 拡大 4: 縮小 2: 維持 5: 終了 3: 改善 6: 廃止	2: 維持	2: 維持			
評価の理由	令和元年度から保育コンシェルジュを窓口配置し、令和3年度も保育所等入所に関わるお問い合わせ、相談や幼児教育・保育の無償化についての相談などにも対応している。新型コロナウイルス感染症の影響で問い合わせ等件数は減となっている。				
8. 備 考	<相談・情報提供件数> R1 R2 R3 664 383 262 令和2年度担当課等: 保育・青少年課				
9. 総合計画2040での位置付け	基本目標(章)	—			
	政策(節)	—			
	施策(項)	—			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	1 子育て家庭の支援	担当課等名	町民窓口課		
2. 施策の基本的方向	1 地域での子育て家庭の支援				
3. 事業名	18 平和推進事業				
4. 事業内容	戦争の悲惨さ、平和の尊さについての意識の高揚を図るため、平和思想の普及、啓発に努める。				
5. 事業番号(再掲含む)	18				
6. 現状と課題	内容を工夫するなどして若年層の参加を増やし、反戦反核、平和意識の継承を図ることが必要。				
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		R2～3年度:①平和イベント事業の参加人数 R4年度～:②平和イベント事業の来場人数(1日平均)			
指標の名称(単位)	数 値				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	① 人	100	100		
	② 人		800	800	800
実績値	① 人	0	799		
	② 人				
達成率(%)		0.0	-	0.0	0.0
評価		C	A		
A :目標達成・目標に向けて順調 B :目標に向けて遅延 C :未実施・廃止の方向					
今後の方向性		2:維持	2:維持		
1:拡大 4:縮小 2:維持 5:終了 3:改善 6:廃止					
評価の理由		令和3年度は総合図書館で平和パネル展を9日間開催したが、参加人数が把握できないため実績値を会場への来場人数(1日平均、図書館来館者数)として評価した。また、令和4年度以降の計画値は直近2年間の8月中の1日平均来館者数を参考に来場人数に変更した。			
8. 備 考	令和2年度担当課等:協働文化推進課				
9. 総合計画2040での位置付け	基本目標(章)	—			
	政策(節)	—			
	施策(項)	—			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	1 子育て家庭の支援	担当課等名	スポーツ課			
2. 施策の基本的方向	1 地域での子育て家庭の支援					
3. 事業名	19 寒川総合体育館運営管理事業					
4. 事業内容	多くの町民に体育館施設を利用してもらい、健康の増進と体力の向上を図る。					
5. 事業番号(再掲含む)	19					
6. 現状と課題	現在、指定管理制度による管理運営を行っており、体育館の効率的な維持管理及び充実した利用者サービスに向けて取り組んでいる。 体育館は開館から20年以上経過しているため、経年劣化への対応が今後の課題である。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		体育館利用者数				
計画値	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	人	280,000	280,500	281,000	281,500	282,000
実績値	人	92,909	150,167			
達成率(%)		33.2	53.5	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		B	B			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の休館や利用者数を制限しての開館をしたことに伴い、開館日数及び利用者数が減少している。 多くの町民の健康の増進と体力の向上を図るため、体育館施設の利用者を拡大していきたいが、コロナの感染状況を注視し、当面は利用者の制限や感染対策を継続する。				
8. 備 考	令和2年度担当課等: 都市計画課					
9. 総合計画2040での位置付け	基本目標(章)	1 まちづくりの原動力となるひとづくり				
	政策(節)	2 生涯を通じた学びと自己実現の促進				
	施策(項)	1 スポーツ・レクリエーション活動の推進				

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	1 子育て家庭の支援	担当課等名	学び推進課			
2. 施策の基本的方向	1 地域での子育て家庭の支援					
3. 事業名	20 青少年育成事業					
4. 事業内容	キャンプなどの事業の実施や青少年育成団体の活動支援などにより、青少年の健全育成を推進する。					
5. 事業番号(再掲含む)	20					
6. 現状と課題	小学生体験学習(さつまいも作り)では、地域のボランティアとの世代間交流も図れ、事業も定着してきている。一方で、更なる青少年の健全育成とマンネリ化の脱却を目指し、新規事業等を計画していく必要がある。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		事業参加人数、事業数				
\	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	事業参加人数(人)	340	340	340	340	340
	事業数(事業)	2	2	2	2	2
実績値	事業参加人数(人)	0	0			
	事業数(事業)	0	0			
達 成 率 (%)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		C	C			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小		3: 改善	3: 改善			
2: 維持 5: 終了						
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業を中止したため。				
8. 備 考		令和2年度担当課等: 保育・青少年課				
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	1 まちづくりの原動力となるひとづくり			
		政策(節)	1 子育て・子育て・教育の推進			
		施策(項)	2 子どもの育ち・発達の支援			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	1 子育て家庭の支援	担当課等名	学び推進課			
2. 施策の基本的方向	1 地域での子育て家庭の支援					
3. 事業名	21 子ども情報紙発行					
4. 事業内容	子ども情報紙「すきっぷ」を幼稚園・保育所・小学生に配布する。					
5. 事業番号(再掲含む)	21					
6. 現状と課題	年4回発行し、町内の子ども向けイベント周知に効果を上げている。掲載内容は町事業が中心となるが、より広いイベント情報の収集に力を入れる。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		年間発行回数				
\	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	回	4	4	4	4	4
実績値	回	4	4			
達 成 率 (%)		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		年4回、町内の幼稚園、保育園、小学校に通う児童全員に配布することで、子ども向けの生涯学習の情報媒体として定着し、講座参加に繋げることができたため。				
8. 備 考		令和2年度担当課等: 協働文化推進課				
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	1 まちづくりの原動力となるひとづくり			
		政策(節)	2 生涯を通じた学びと自己実現の促進			
		施策(項)	2 生涯学習・地域文化の推進			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	1 子育て家庭の支援	担当課等名	スポーツ課			
2. 施策の基本的方向	1 地域での子育て家庭の支援					
3. 事業名	22 町営プール運営管理事業					
4. 事業内容	夏季のスポーツ・レジャー施設として、利用者の需要に応えるため、現在休止中である町営プールの施設改修を実施する。(プール底面隆起により、平成25年7月30日より休止)					
5. 事業番号(再掲含む)	22					
6. 現状と課題	現在、指定管理者制度による管理を行っており、町営プールの効率的管理及び充実した使用者サービスに向けて取り組んでいる。 改修後稼働再開初年度の利用者数はコロナウイルス感染対策を講じながら営業を続け、3万人を超える利用者があった。近隣自治体のプールが閉鎖され当施設に流入したことが大きな影響と考えるが、自主事業の展開や魅力ある施設運営を進める。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		R2～3年度:①施設建設に係る工事及び開場 R4年度～:②町営プール利用者数				
	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	①工事	○				
	①開場		○			
	②利用者数(人)			22,000	22,000	22,000
実績値	①工事	○				
	①開場	-	○			
	②利用者数(人)					
達 成 率 (%)		-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-
		-	-			
評価 A : 目標達成・目標に向けて順調 B : 目標に向けて遅延 C : 未実施・廃止の方向		A	A			
今後の方向性 1: 拡大 4: 縮小 2: 維持 5: 終了 3: 改善 6: 廃止		2: 維持	2: 維持			
評価の理由		令和3年度は休止前の5年間平均約22,000人を上回る30,005人の利用者数があった。50mプールが25mプールとなったが、指定管理者が行う自主事業(教室等)やウォータースレチックなど、感染対策を講じながら施設運営を継続する。				
8. 備 考	令和2年度担当課等: 健康・スポーツ課					
9. 総合計画2040での位置付け	基本目標(章)	1 まちづくりの原動力となるひとづくり				
	政策(節)	2 生涯を通じた学びと自己実現の促進				
	施策(項)	1 スポーツ・レクリエーション活動の推進				

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	1 子育て家庭の支援	担当課等名	教育施設給食課			
2. 施策の基本的方向	1 地域での子育て家庭の支援					
3. 事業名	23 学校開放事業					
4. 事業内容	町内の各小中学校の体育館や校庭を広く町民に開放し、スポーツ・レクリエーション活動の場を提供する。					
5. 事業番号(再掲含む)	23					
6. 現状と課題	概ね事業目標である社会教育その他公共の為の施設活用は達成出来ている。だが、制度運用については、改善の余地があると思われるので、今後検討していく。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		R2年度:①学校開放利用数(コマ数) R3年度~:②利用率(学校開放利用数/利用可能数)				
	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	①(コマ)	10,200	/	/	/	/
	②(%)	/	60	60	60	60
実績値	①(コマ)	1,463	/	/	/	/
	②(%)	/	66	/	/	/
達 成 率 (%)		14.3	/	/	/	/
		/	109.2	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		計画値に対し、実績値が上回った為、評価をAとした。 なお、令和3年度より、指標をコマ数ではなく利用率とした。また、計画値は、これまでの実績等から6割としている。				
8. 備 考		新型コロナウイルス感染症の影響等により、施設の利用可能コマ数が減っている状況であるため、令和3年度より指標を変更した。				
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	—			
		政策(節)	—			
		施策(項)	—			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	1 子育て家庭の支援	担当課等名	教育政策課			
2. 施策の基本的方向	1 地域での子育て家庭の支援					
3. 事業名	24 公民館講座開催事業					
4. 事業内容	青少年の健全育成を図るため、公民館を地域の学びの拠点として、青少年が地域で様々なことを学び、体験できる機会を提供する。					
5. 事業番号(再掲含む)	24	55				
6. 現状と課題	公民館講座に興味を持ち、参加する層には一定の成果が見られるが、公民館に足を運ばない層へ働きかけていくためにも、講座内容の検討や他課との連携を図る必要がある。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		講座開催回数、参加者数				
計画値	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	開催回数(回)	142	142	142	142	142
	参加者数(人)	2,450	2,450	2,450	2,450	2,450
実績値	開催回数(回)	81	95			
	参加者数(人)	2,467	6,242			
達成率(%)		57.0	66.9	0.0	0.0	0.0
		100.7	254.8	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小		1: 拡大	1: 拡大			
2: 維持 5: 終了						
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、計画していた事業の開催見送りや、8～9月の緊急事態宣言期間中は開催を中止したり、1～3月のまん延防止重点措置期間中は青少年対象事業の一部を中止した。開催回数はやむを得ず減少したが、各講座が概ね定員に達する参加があり、参加者数は目標値に達したため、評価はAとする。				
8. 備 考	令和2年度担当課等: 教育総務課					
9. 総合計画2040での位置付け	基本目標(章)	1 まちづくりの原動力となるひとづくり				
	政策(節)	2 生涯を通じた学びと自己実現の促進				
	施策(項)	3 社会教育の振興				

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	1 子育て家庭の支援	担当課等名	町民窓口課			
2. 施策の基本的方向	2 仕事と子育ての両立					
3. 事業名	25 男女共同参画推進事業					
4. 事業内容	男女が共に人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会の実現に向け、各種講座の開催などを通じ意識啓発を図る。					
5. 事業番号(再掲含む)	25					
6. 現状と課題	男女共同参画への意識啓発を図るため事業を実施しているが会によって参加者の年齢層が固まっていたり、男女での参加人数が偏ってしまっていることがある。対象やテーマ設定等に工夫をしながらより多くの方や幅広い年齢層の参加促進を検討する。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		研修会・講座の参加人数				
	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	人	30	30	30	30	30
実績値	人	59	135			
達成率(%)		196.7	450.0	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		<p>新型コロナウイルスの影響で、オンラインによる講演会となった。配信期間を2~4週間とし、都合のよい時間に視聴することができることから、男女問わず幅広い年代の方や日本全国に限らず海外の視聴者もいた。目標をはるかに上回る参加人数であり、多くの方に啓発を行うことができたため。</p> <p>①男女共同参画推進市町村連携講座「社会が変わる、私も変わる - 誰もが暮らしやすい時代を目指して-」参加者 31人 ②2市1町(藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町)広域連携事業男女共同参画特別講演会「女性のウェルビーイングって何だろう」参加者 104人</p>				
8. 備 考	令和2年度担当課等: 協働文化推進課					
9. 総合計画2040での位置付け	基本目標(章)	6 まちづくりのための基盤づくり				
	政策(節)	1 つながる力の促進				
	施策(項)	2 多様な主体によるまちづくりの推進				

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	1 子育て家庭の支援	担当課等名	産業振興課			
2. 施策の基本的方向	2 仕事と子育ての両立					
3. 事業名	26 ハローワーク求人情報の提供					
4. 事業内容	ハローワークで情報提供している「ハローワーク求人情報」を得るためのパソコンを庁舎に設置することにより、就業を希望する町民に対し、就業機会の確保を図る。					
5. 事業番号(再掲含む)	26					
6. 現状と課題	社会情勢を踏まえ、就労支援の充実を図る必要性は感じるが、町単独の相談事業などの実施は難しい。 ハローワーク藤沢やその管内の自治体との広域による事業の推進が現実的な取り組みとして期待される。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		利用可能日数÷役場開庁日数×100				
	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	%	100	100	100	100	100
実績値	%	100	100			
達成率(%)		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		ハローワーク求人情報は開庁日全日、パソコンで利用可能となっているため。利用者のうち就労に繋がった人がどれくらいいたか数値化することは困難だが、窓口業務や域内事業等を通じて周知し、利用者の増加を図っていく。				
8. 備 考		<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン利用簿よりハローワークを利用目的としている件数を算出。 (平成30年度:13件、令和元年度:12件、令和2年度:8件、令和3年度:8件) ・ハローワーク藤沢、鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市と連携しながら、湘南合同就職説明会を開催している。 平成30年度:29企業63人の参加【寒川2人】、令和元年度:29企業53人の参加【寒川1人】 令和2年度:18企業46人の参加【寒川1人】、令和3年度:16企業77人の参加【寒川2人】 ※令和2年度、3年度はコロナ禍のため、企業数を制限しての実施とした 				
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	—			
		政策(節)	—			
		施策(項)	—			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	1 子育て家庭の支援	担当課等名	教育政策課			
2. 施策の基本的方向	3 子育て家庭への経済的支援の充実					
3. 事業名	27 奨学金制度推進事業					
4. 事業内容	経済的理由により高等学校や高等専門学校への修学が困難な者に対し、奨学金を無利子で貸与して修学を奨励する。また、奨学金の原資となる奨学金基金を増額して、奨学金制度の充実と安定を図る。					
5. 事業番号(再掲含む)	27					
6. 現状と課題	公立高校授業料無償化等が実施され、保護者の教育費負担が軽減されている。県奨学金制度の動向を踏まえ、制度の継続に必要な予算の確保を図る。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		奨学金基金の現金総額				
計画値	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	万円	1,080	1,110	1,140	1,170	1,200
実績値	万円	1,183	1,112			
達 成 率 (%)		109.5	100.2	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		県が実施する私学高等学校等の学費支援制度により授業料等の無償化されていることから、町の奨学金制度の申請者はこの数年減少しているものの、制度利用に関する相談は毎年寄せられ、貸付も実施している状況であるため、今後も制度を維持し継続する。				
8. 備 考	令和2年度担当課等: 教育総務課					
9. 総合計画2040での位置付け	基本目標(章)	—				
	政策(節)	—				
	施策(項)	—				

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	1 子育て家庭の支援	担当課等名	教育政策課			
2. 施策の基本的方向	3 子育て家庭への経済的支援の充実					
3. 事業名	28 就学援助等事業(小学校・中学校)					
4. 事業内容	<p>経済的理由により就学困難と認められる町立小・中学校の児童生徒の保護者に対し、学用品費や学校給食費など義務教育でかかる費用の一部を援助することにより、経済的理由による未就学を解消し、義務教育の円滑な実施を図る。</p> <p>町立小・中学校の特別支援学級に就学する児童生徒の保護者に対し、学用品費や学校給食費など義務教育課程でかかる費用の一部を援助することにより、保護者の経済的負担を軽減し、特別支援学級における教育の普及奨励を図る。</p>					
5. 事業番号(再掲含む)	28					
6. 現状と課題	<p>少子化により児童生徒数は減少傾向であるが、ひとり親家庭や収入が少ない家庭、及び特別な支援を要する児童生徒などの認定者は増加している。</p> <p>今後も認定者の増加が見込まれ、保護者の経済的負担を軽減するための的確な経済的支援の必要性が増すものと考えられる。</p>					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		就学援助等支給率＝受給者数／認定者数 (就学援助等の認定者に対して、支給されているか)				
	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	%	100	100	100	100	100
実績値	%	100	100			
達成率(%)		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
評価			A			
<p>A : 目標達成・目標に向けて順調</p> <p>B : 目標に向けて遅延</p> <p>C : 未実施・廃止の方向</p>		A	A			
今後の方向性			2:維持			
<p>1:拡大 4:縮小</p> <p>2:維持 5:終了</p> <p>3:改善 6:廃止</p>		2:維持	2:維持			
評価の理由		<p>コロナ禍の影響等により、所得の減少に伴う申請が増加した。今後も、保護者の経済的負担を軽減するために的確な経済的支援を継続する。</p>				
8. 備 考	令和2年度担当課等:学校教育課					
9. 総合計画2040での位置付け	基本目標(章)	—				
	政策(節)	—				
	施策(項)	—				

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	1 子育て家庭の支援	担当課等名	子育て支援課			
2. 施策の基本的方向	3 子育て家庭への経済的支援の充実					
3. 事業名	29 児童手当					
4. 事業内容	次代の社会を担う子どもの育ちを支援するため、中学校修了前までの子どもがいる家庭に手当を支給する。					
5. 事業番号(再掲含む)	29					
6. 現状と課題	申請主義であるため、手続きに漏れないよう対象者への周知徹底を図る。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		受給資格があると思われる者に対する周知率、受給該当者に対する支給率				
	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	周知率(%)	100	100	100	100	100
	支給率(%)	100	100	100	100	100
実績値	周知率(%)	100	100			
	支給率(%)	100	100			
達 成 率 (%)		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		法に基づく手当であり、今後とも周知徹底を図っていく。				
8. 備 考						
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	—			
		政策(節)	—			
		施策(項)	—			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	1 子育て家庭の支援	担当課等名	子育て支援課			
2. 施策の基本的方向	3 子育て家庭への経済的支援の充実					
3. 事業名	30 小児医療費助成事業					
4. 事業内容	小児が病院等を受診したときに支払う医療費の保険診療分の自己負担額を町が負担する。0歳から中学卒業までの通院・入院が対象。令和2年度までは1歳以上所得制限あり。					
5. 事業番号(再掲含む)	30					
6. 現状と課題	令和2年度までは、0歳児所得制限無し、1歳児以上から所得制限有りで実施してきたが、令和3年度から所得制限を廃止して実施した。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		受給資格があると思われる者に対する周知率、通院に係る助成対象者数				
	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	周知率(%)	100	100	100	100	100
	対象者数(人)	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800
実績値	周知率(%)	100	100			
	対象者数(人)	5,578	6,127			
達 成 率 (%)		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
		96.2	105.6	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小		1: 拡大	2: 維持			
2: 維持 5: 終了						
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		家庭の経済的な理由によることなく、子どもが安心して医療機関を受診できる環境を整えるため、医療費の一部を町が負担することにより、小児の健康増進を図ることができた。新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した子育て世帯の経済的負担軽減を図るため、令和3年度から所得制限を廃止した。				
8. 備 考						
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	—			
		政策(節)	—			
		施策(項)	—			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	1 子育て家庭の支援	担当課等名	福祉課		
2. 施策の基本的方向	3 子育て家庭への経済的支援の充実				
3. 事業名	31 小児慢性特定疾病医療費助成				
4. 事業内容	18歳未満で指定された特定疾患のある児童が入院、通院したときの医療費を助成し、保健及び福祉の向上に寄与する。				
5. 事業番号(再掲含む)	31				
6. 現状と課題	神奈川県所管事業。申請窓口は平成29年度より茅ヶ崎市保健所(平成28年度以前は茅ヶ崎保健福祉事務所)。				
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		神奈川県所管事業のため、進行管理は行わない。			
指 標の名称(単位)	数 値				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値					
実績値					
達 成 率 (%)					
評価 A : 目標達成・目標に向けて順調 B : 目標に向けて遅延 C : 未実施・廃止の方向					
今後の方向性 1: 拡大 4: 縮小 2: 維持 5: 終了 3: 改善 6: 廃止					
評価の理由					
8. 備 考					
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	—		
		政策(節)	—		
		施策(項)	—		

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	1 子育て家庭の支援	担当課等名	保険年金課			
2. 施策の基本的方向	3 子育て家庭への経済的支援の充実					
3. 事業名	32 出産育児一時金の支給					
4. 事業内容	国民健康保険の被保険者が出産した場合（他の医療保険制度より、同様の給付を受けられる場合を除く）一時金を支給する。なお、医療機関への直接払い制度も実施している。被保険者は出産費用の総額から出産育児一時金（42万円）を差し引いた差額のみ医療機関へ支払うことになり、町への一時金申請手続きが不要となる。					
5. 事業番号（再掲含む）	32					
6. 現状と課題	出産育児一時金の支給の内容については、国の基準に従って実施しているため、改正に準じて対応していく必要がある。					
7. 年次計画（指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性）						
指 標		出産育児一時金の件数				
	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	件	50	49	48	47	46
実績値	件	34	33			
達成率 (%)		68.0	67.3	0.0	0.0	0.0
評価 A : 目標達成・目標に向けて順調 B : 目標に向けて遅延 C : 未実施・廃止の方向		A	A			
今後の方向性 1: 拡大 4: 縮小 2: 維持 5: 終了 3: 改善 6: 廃止		2: 維持	2: 維持			
評価の理由		被保険者数の減少及び少子化に伴い年々実績は減少しているが、国民健康保険加入者の出産という観点からすると、100%支給しているため。				
8. 備 考						
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	—			
		政策(節)	—			
		施策(項)	—			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	1 子育て家庭の支援	担当課等名	子育て支援課			
2. 施策の基本的方向	3 子育て家庭への経済的支援の充実					
3. 事業名	33 幼児教育・保育の無償化事業					
4. 事業内容	生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性に鑑み、幼児教育の負担軽減を図るため、令和元年10月から幼児教育・保育の無償化が開始されたことにより、3歳児から5歳児の保育料等を原則無償とする。また保育の要件を有し、一定の要件を満たしている保護者の児童が一時預かり事業等の利用をする場合、その費用も原則無償とする。					
5. 事業番号(再掲含む)	33					
6. 現状と課題	幼稚園及び保育所から対象保護者に対して、周知を図る。複雑な事業なので、町からも広報等で周知を図る。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		対象保護者であると思われる者に対する周知率 対象保護者に対する支給率				
	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	周知率(%)	100	100	100	100	100
	支給率(%)	100	100	100	100	100
実績値	周知率(%)	100	100			
	支給率(%)	100	100			
達成率(%)		100	100.0	0.0	0.0	0.0
		100				
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		保育所、幼稚園等に入園している児童の保護者には周知をしている。その他の施設を利用している児童についても施設から周知をしている。年度内に請求があった分についての支給は全て終わっている。				
8. 備 考	令和2年度担当課等: 保育・青少年課					
9. 総合計画2040での位置付け	基本目標(章)	—				
	政策(節)	—				
	施策(項)	—				

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	1 子育て家庭の支援	担当課等名	福祉課 神奈川県			
2. 施策の基本的方向	3 子育て家庭への経済的支援の充実					
3. 事業名	34 生活保護制度					
4. 事業内容	生活に困窮している人に最低限度の生活を保障し、自立支援を図る。					
5. 事業番号(再掲含む)	34					
6. 現状と課題						
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		神奈川県所管事業のため、進行管理は行わない。				
\	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値						
実績値						
達 成 率 (%)						
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調						
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了						
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由						
8. 備 考						
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	—			
		政策(節)	—			
		施策(項)	—			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	1 子育て家庭の支援	担当課等名	神奈川県、神奈川県社会福祉協議会			
2. 施策の基本的方向	3 子育て家庭への経済的支援の充実					
3. 事業名	35 生活困窮者自立相談支援事業					
4. 事業内容	生活保護に至る前の支援で、支援計画の作成や就労促進等の支援や、一定の期間家賃相当額の支給等を行う。					
5. 事業番号(再掲含む)	35					
6. 現状と課題						
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		神奈川県所管事業のため、進行管理は行わない。				
\	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値						
実績値						
達 成 率 (%)						
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調						
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了						
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由						
8. 備 考						
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	—			
		政策(節)	—			
		施策(項)	—			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	2 母子の健康の確保と増進	担当課等名	子育て支援課		
2. 施策の基本的方向	1 母と子の健康づくり				
3. 事業名	36 利用者支援事業(母子保健型)				
4. 事業内容	妊娠届を出した妊婦に、母子健康手帳とマタニティストラップを交付し、妊婦健診の受け方や父親母親教室等、町の事業を紹介する。また、妊婦及び申請者に面接し、予想外の妊娠や若年・高齢出産、多胎妊娠、妊娠中や産後の支援の有無等の情報を聴取することで、継続支援が必要な妊婦を把握する。				
5. 事業番号(再掲含む)	36				
6. 現状と課題	母子手帳交付時に妊婦及び申請者に面接し、支援が必要な妊婦を把握し、その後の状態確認や相談・支援に結びつけている。				
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		妊婦及び申請者への面接率			
指標の名称(単位)	数 値				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	%	100	100	100	100
実績値	%	100.0	100.0		
達成率(%)		100.0	100.0	0.0	0.0
評価					
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A		
B : 目標に向けて遅延					
C : 未実施・廃止の方向					
今後の方向性					
1: 拡大 4: 縮小					
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持		
3: 改善 6: 廃止					
評価の理由		母子手帳の交付は必ずすべての妊婦と申請者に、助産師または保健師が面接し、妊婦を取り巻く状況の把握に努めながら、妊婦の不安に寄り添った対応を行っている。また支援が必要な妊婦を把握し、必要な妊婦には、電話等でフォローも行っている。			
8. 備 考					
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	1 まちづくりの原動力となるひとづくり		
		政策(節)	1 子育て・子育て・教育の推進		
		施策(項)	2 子どもの育ち・発達の支援		

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	2 母子の健康の確保と増進	担当課等名	子育て支援課			
2. 施策の基本的方向	1 母と子の健康づくり					
3. 事業名	37 母子健康教育事業					
4. 事業内容	初妊婦とそのパートナーを対象に、出産や育児についての知識と技術を伝えるとともに、他の妊婦等と知り合うことや相談先を知るきっかけづくりとして父親・母親教室等を実施する。					
5. 事業番号(再掲含む)	37					
6. 現状と課題	1コース4日間、年5コース開催している。主に初妊婦とそのパートナーを対象に、妊娠中の注意、お産の知識、育児の実習等を取り入れて開催している。また、男性が積極的に育児参加できるよう、男性向けのテキストを作成配布し、妊婦とパートナーが一緒に参加できるよう、最終日の育児実習は日曜日に開催。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		教室満足度				
指標の名称(単位)	数 値					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画値	%	100	100	100	100	
実績値	%	93.7	94.4			
達成率(%)		93.7	94.4	0.0	0.0	
評価 A : 目標達成・目標に向けて順調 B : 目標に向けて遅延 C : 未実施・廃止の方向		A	A			
今後の方向性 1: 拡大 4: 縮小 2: 維持 5: 終了 3: 改善 6: 廃止		2: 維持	2: 維持			
評価の理由		母子健康手帳交付時に、男性向けテキストを配布し、育児参加の意識付けを図った。教室参加実人数は、妊婦48人、パートナー43人。父親の参加が定着してきている。教室に参加できない方向けに、教室の内容の一部を動画配信しており、その周知は妊娠届出時に行っている。				
8. 備 考						
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	1 まちづくりの原動力となるひとづくり			
		政策(節)	1 子育て・子育て・教育の推進			
		施策(項)	2 子どもの育ち・発達の支援			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	2 母子の健康の確保と増進	担当課等名	子育て支援課																	
2. 施策の基本的方向	1 母と子の健康づくり																			
3. 事業名	38 母子健康相談事業																			
4. 事業内容	乳幼児の成長発達を確認し、保護者の育児不安の解消を図る。																			
5. 事業番号(再掲含む)	38																			
6. 現状と課題	7か月児相談を開催している。新型コロナウイルス感染症の影響により、来所を控える傾向が見られるため、こちらから訪問や電話でのアプローチに努める必要がある。																			
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)																				
指 標		相談主訴への対応率																		
	指標の名称(単位)	数 値																		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度														
計画値	%	100	100	100	100	100														
実績値	%	100	100																	
達 成 率 (%)		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0														
評価																				
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A																	
B : 目標に向けて遅延																				
C : 未実施・廃止の方向																				
今後の方向性																				
1: 拡大 4: 縮小																				
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持																	
3: 改善 6: 廃止																				
評価の理由		7か月児相談では対象月齢の発育・発達や離乳食、歯の手入れなどの不安に対応し、保護者の育児不安の解消に努めている。																		
8. 備 考		<相談来所人数等> 7か月 <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">H30</td> <td style="text-align: center;">R1</td> <td style="text-align: center;">R2</td> <td style="text-align: center;">R3</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">来所人数(人)</td> <td style="text-align: center;">352</td> <td style="text-align: center;">301</td> <td style="text-align: center;">291</td> <td style="text-align: center;">307</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">来所率(%)</td> <td style="text-align: center;">93.1</td> <td style="text-align: center;">96.2</td> <td style="text-align: center;">82.7</td> <td style="text-align: center;">96.8</td> </tr> </table> * 令和元年度と2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で一部開催しない月もあったため、来所人数、来所率ともに減となっている。					H30	R1	R2	R3	来所人数(人)	352	301	291	307	来所率(%)	93.1	96.2	82.7	96.8
	H30	R1	R2	R3																
来所人数(人)	352	301	291	307																
来所率(%)	93.1	96.2	82.7	96.8																
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	1 まちづくりの原動力となるひとづくり																	
		政策(節)	1 子育て・子育て・教育の推進																	
		施策(項)	2 子どもの育ち・発達の支援																	

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	2 母子の健康の確保と増進	担当課等名	子育て支援課			
2. 施策の基本的方向	1 母と子の健康づくり					
3. 事業名	39 母子健康診査事業					
4. 事業内容	妊娠経過や乳幼児の成長発達の健診を行い、安心して出産や育児ができるよう支援する。また、異常等があれば早期に医療機関等へつなげる。					
5. 事業番号(再掲含む)	39	91				
6. 現状と課題	母子保健法に基づき、妊婦健康診査、妊婦歯科健康診査、4か月児健康診査、お誕生前健康診査、1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳6か月児健康診査事業を行っている。乳幼児健康診査(4か月児、お誕生前、1歳6か月児、3歳6か月児)の未受診者については、訪問等により状態を確認し、虐待予防を兼ねた全数把握を実施している。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		乳幼児健康診査受診率(4つの健康診査受診率の平均)				
	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	%	100	100	100	100	100
実績値	%	96.4	96.2			
達成率(%)		96.4	96.2	0.0	0.0	0.0
評価 A : 目標達成・目標に向けて順調 B : 目標に向けて遅延 C : 未実施・廃止の方向		A	A			
今後の方向性 1: 拡大 4: 縮小 2: 維持 5: 終了 3: 改善 6: 廃止		2: 維持	2: 維持			
評価の理由		乳幼児健診の受診率は、4か月児健康診査102.3%、お誕生前健康診査91.9%、1歳6か月児健康診査97.8%、3歳6か月児健康診査92.9%。健診の前にお知らせをし、未受診の対象には受診勧奨のはがきを送付し受診を促している。未受診者には訪問等で状況把握を実施した。				
8. 備 考						
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	1 まちづくりの原動力となるひとづくり			
		政策(節)	1 子育て・子育て・教育の推進			
		施策(項)	2 子どもの育ち・発達の支援			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	2 母子の健康の確保と増進	担当課等名	子育て支援課		
2. 施策の基本的方向	1 母と子の健康づくり				
3. 事業名	40 母子訪問指導事業				
4. 事業内容	対象者の家庭を訪問することで、より実生活に密着した保健指導を適切な時期に実施し、妊婦及び養育者の不安の軽減を図り、乳幼児の成長発達を促す。				
5. 事業番号(再掲含む)	40				
6. 現状と課題	対象者の状態から適切な時期に訪問し、必要に応じ継続的に訪問することにより、対象者の生活に寄り添う支援を実施している。				
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		訪問指導が必要な家庭への訪問実施率			
指 標の名称(単位)	数 値				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	%	100	100	100	100
実績値	%	100	100		
達 成 率 (%)		100.0	100.0	0.0	0.0
評価 A : 目標達成・目標に向けて順調 B : 目標に向けて遅延 C : 未実施・廃止の方向		A	A		
今後の方向性 1: 拡大 4: 縮小 2: 維持 5: 終了 3: 改善 6: 廃止		2: 維持	2: 維持		
評価の理由		希望のある家庭だけでなく、訪問が必要と判断した家庭に対し、全件訪問を実施することで、対象者の状況確認と継続した訪問につなげ、保護者の不安軽減を図っている。			
8. 備 考					
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	1 まちづくりの原動力となるひとづくり		
		政策(節)	1 子育て・子育て・教育の推進		
		施策(項)	2 子どもの育ち・発達の支援		

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	2 母子の健康の確保と増進	担当課等名	子育て支援課			
2. 施策の基本的方向	1 母と子の健康づくり					
3. 事業名	41 乳児家庭全戸訪問事業					
4. 事業内容	すべての乳児のいる家庭を訪問し、子育ての孤立化を防ぐために様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報提供を行う。					
5. 事業番号(再掲含む)	41					
6. 現状と課題	生後4か月までの全戸訪問を実施しているが、妊娠期の情報や出生時の状況から早期に訪問が必要な場合は、新生児期(生後28日以内)に訪問している。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		生後4か月までの乳児がいる家庭への訪問率				
	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	%	100	100	100	100	100
実績値	%	100	100			
達 成 率 (%)		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
評価 A : 目標達成・目標に向けて順調 B : 目標に向けて遅延 C : 未実施・廃止の方向		A	A			
今後の方向性 1: 拡大 4: 縮小 2: 維持 5: 終了 3: 改善 6: 廃止		2: 維持	2: 維持			
評価の理由		出生児及び生後4か月までの転入児に全戸訪問(307件)し、状況を把握し、必要な支援を行っている。 出生児についてはできるだけ生後1か月以内の新生児期に訪問(75件)し、不安の軽減を図った。				
8. 備 考						
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	1 まちづくりの原動力となるひとづくり			
		政策(節)	1 子育て・子育て・教育の推進			
		施策(項)	1 子育て支援の充実			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	2 母子の健康の確保と増進	担当課等名	子育て支援課			
2. 施策の基本的方向	1 母と子の健康づくり					
3. 事業名	42 食育教室					
4. 事業内容	離乳食の試食を通して離乳食の進め方を学ぶ教室を実施(前期講習会:毎月で年12回、後期講習会:隔月で年6回)し、食材の内容や味付けを体験してもらうことで、乳幼児期の食事が生涯の健康づくりの基盤となることを伝える。					
5. 事業番号(再掲含む)	42					
6. 現状と課題	第1子の保護者を中心に、児の個性に合わせた指導を実施し、継続支援が必要な場合は、相談や訪問事業につないでいる。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		教室満足度				
計画値	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	%	100	100	100	100	100
実績値	%	95.2	93.6			
達 成 率 (%)		95.2	93.6	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		前期 80人、後期 45人が参加。 参加者からはおおむね高評価を頂いている。 教室後に継続的な支援が必要な母子には、育児相談や訪問を実施した。				
8. 備 考						
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	1 まちづくりの原動力となるひとづくり			
		政策(節)	1 子育て・子育て・教育の推進			
		施策(項)	2 子どもの育ち・発達の支援			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	2 母子の健康の確保と増進	担当課等名	教育施設給食課			
2. 施策の基本的方向	1 母と子の健康づくり					
3. 事業名	43 学校給食の充実					
4. 事業内容	小学生に対し、給食調理場施設および設備の修繕等を行い、安全で安心な給食を提供するとともに、成長期にある中学生に給食提供ができるよう、令和5年度を目途に小・中学校を合わせた給食センターを設置し、中学校完全給食を実施する。また、地場産の食材利用や栄養管理を行い、児童に対する食育を推進する。					
5. 事業番号(再掲含む)	43					
6. 現状と課題	学校給食の衛生・栄養管理を行い、食育及び給食指導のために各小学校に栄養士を配置する。安全性確保のため、学校給食施設の計画的な改善に必要な予算を確保する。財政状況が厳しい中、買い換えの必要な備品を修繕で対応している。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		給食実施日数の割合(全小学校の給食実施延べ日数/全小学校の給食予定延べ日数)				
	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	%	100	100	100	100	100
実績値	%	100	100			
達 成 率 (%)		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		<p>安心、安全な小学校給食を円滑に実施するため、運営上必要な施設設備維持管理の充実と食中毒防止の強化を図った。合わせて、食器等の給食消耗品など必要物品の補充、給食従事員に月2回の検便検査および衛生研修等を実施し、給食の安全確保に努めた。また、中学校給食はミルク給食を実施し、合わせてスクールランチの提供も実施している。</p> <p>昨年度から続くコロナウイルス感染症対策として、喫食を黙食にするなど運用で安全な給食提供を行った。</p> <p>また、小中学校合わせた完全給食実施に向けて、令和元年度に策定した「給食センター整備基本構想・計画」にもとづき、作成した実施設計をもとに整備工事を進めている。</p>				
8. 備 考						
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	1 まちづくりの原動力となるひとづくり			
		政策(節)	1 子育て・育ち・教育の推進			
		施策(項)	3 学校教育の推進			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	2 母子の健康の確保と増進	担当課等名	学校教育課 子育て支援課			
2. 施策の基本的方向	1 母と子の健康づくり					
3. 事業名	44 思春期の保健対策の強化					
4. 事業内容	電話相談等を中心に対応を図る。 学校における性教育の充実を図るため、必要に応じて指導・助言を行う。					
5. 事業番号(再掲含む)	44					
6. 現状と課題	学校教育課: 複雑な家庭環境下の相談事例が漸増している。また、学校における性教育については、学習指導要領に則り充実が図られるよう指導・助言を行っている。 子育て支援課: 相談希望時に対応をしている。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		相 談 対 応 率				
\	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	%	100	100	100	100	100
実績値	%	100	100			
達 成 率 (%)		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
評価 A : 目標達成・目標に向けて順調 B : 目標に向けて遅延 C : 未実施・廃止の方向		A	A			
今後の方向性 1: 拡大 4: 縮小 2: 維持 5: 終了 3: 改善 6: 廃止		2: 維持	2: 維持			
評価の理由		学校教育課の教育相談事業として思春期特有の悩みを持つ児童・生徒、またその保護者からの相談について、相談者のニーズに寄り添い対応した。 子育て支援課に相談があった場合は、保健師等が対応を行っている。				
8. 備 考						
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	—			
		政策(節)	—			
		施策(項)	—			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	2 母子の健康の確保と増進	担当課等名	子育て支援課			
2. 施策の基本的方向	1 母と子の健康づくり					
3. 事業名	45 特定不妊治療費補助事業					
4. 事業内容	医療保険が適用されず高額の治療費がかかる体外受精及び顕微授精に要する費用の一部を助成する。					
5. 事業番号(再掲含む)	45					
6. 現状と課題	神奈川県が「不妊治療に悩む方への特定治療支援事業」を実施しているが、若年層の収入が少ない家庭も多い。少しでも家庭への負担を軽減させる必要があるため、県の事業への上乗せ助成を行っている。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		受給資格があると思われる者に対する周知率、助成対象者数				
\	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	%	100	100	100	100	100
	人	35	35	35	35	35
実績値	%	100	100			
	人	38	24			
達 成 率 (%)		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
		108.6	68.6	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		平成25年度の制度開始以降、毎年度コンスタントに申請があり、内容を精査の上、全ての申請に対応できているため。				
8. 備 考						
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	—			
		政策(節)	—			
		施策(項)	—			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	2 母子の健康の確保と増進	担当課等名	子育て支援課			
2. 施策の基本的方向	1 母と子の健康づくり					
3. 事業名	46 不育症治療費補助事業					
4. 事業内容	医療保険が適用されない不育症治療に要する費用の一部を助成する。					
5. 事業番号(再掲含む)	46					
6. 現状と課題	不育症治療費助成事業については、若年層の収入が少ない家庭も多い。少しでも家庭への負担を軽減させる必要がある。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		受給資格があると思われる者に対する周知率、助成対象者数				
	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	%	100	100	100	100	100
	人	2	2	2	2	2
実績値	%	100	100			
	人	1	0			
達 成 率 (%)		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
		50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	B			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		必要とする方へ向けには医療機関を通じて周知がなされているが、令和3年度は申請がなかった。助成制度を設けておくことに意義があるという外部評価をいただいております。不育症に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図るために事業を継続していく。				
8. 備 考						
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	—			
		政策(節)	—			
		施策(項)	—			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	2 母子の健康の確保と増進	担当課等名	健康づくり課			
2. 施策の基本的方向	2 保健医療の充実					
3. 事業名	47 初期救急医療確保対策事業					
4. 事業内容	平日夜間・休日の急患に対し、小児科等適切な医療が受けられるようにするため、茅ヶ崎市と協定し茅ヶ崎市地域医療センターにおいて診療を提供する。					
5. 事業番号(再掲含む)	47					
6. 現状と課題	茅ヶ崎市、茅ヶ崎医師会等との協力を得て茅ヶ崎市地域医療センターにおける休日・夜間の診療を提供する。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		茅ヶ崎市地域医療センター利用周知の実施回数(回)				
計画値	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	回	13	13	13	13	13
実績値	回	13	13			
達成率(%)		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		広報さむかわ(12回/年)、さむかわ健康だより(1回/年)へ掲載し、町民へ周知できている。				
8. 備 考	令和2年度担当課等: 健康・スポーツ課					
9. 総合計画2040での位置付け	基本目標(章)	—				
	政策(節)	—				
	施策(項)	—				

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	2 母子の健康の確保と増進	担当課等名	子育て支援課			
2. 施策の基本的方向	2 保健医療の充実					
3. 事業名	48 母子予防接種事業					
4. 事業内容	母子の感染症を予防するとともに、そのまん延や重症化を防ぐため、A類定期予防接種を実施するとともに、対象者が適切に接種できるよう、接種時期、接種回数、実施場所等を周知する。					
5. 事業番号(再掲含む)	48					
6. 現状と課題	平成26年水痘 平成28年B型肝炎 令和元年ロタウイルスワクチンが定期接種対象になるなど、予防接種の種類が増えて、受け方が複雑かつ煩雑になってきている。令和2年HPVワクチンの周知等について国からの通知があり、ワクチン接種の効果やリスクなどを対象者に伝えることが求められている。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		主要予防接種(定期A類予防接種のうち接種回数が1回の予防接種 MR I 期 II 期 BCG 2種混合)の平均予防接種率				
	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	%	90.0	90.5	91.0	91.5	92.0
実績値	%	92.6	87.1			
達成率(%)		102.9	96.3	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	B			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		医療機関に委託し事業を実施するほか、長期里帰り等委託医療機関で予防接種を受けることのできない児に対し、償還払いを行った。 2種混合の接種率が、R1年度70.3% R2年度63.6% R3年度61%と減少傾向にある。 12月に広報で周知を行ったが、接種率の上昇は見られなかった。				
8. 備 考		令和3年11月26日HPVワクチンの積極的勧奨が再開。				
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	—			
		政策(節)	—			
		施策(項)	—			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	3 教育環境の整備	担当課等名	学校教育課			
2. 施策の基本的方向	1 学校教育の充実					
3. 事業名	49 「生きる力」の育成事業(小学校・中学校)					
4. 事業内容	校内研究への補助や、地域協力者への謝礼を通して、児童又は生徒の「生きる力」の育成を推進する。					
5. 事業番号(再掲含む)	49					
6. 現状と課題	新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、一部取組は制限はあったものの、校内研究や地域協力者への謝礼、芸術鑑賞事業への補助を通して、教育活動の充実が図られ、「生きる力」の育成が推進されている。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		校内研究の成果を実践報告により目的の達成度をABCの3段階で評価する。A=2、B=1、C=0と数値化し、次のように設定する。 小学校:2×5=10、中学校:2×3=6				
	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	小学校	10	10	10	10	10
	中学校	6	6	6	6	6
実績値	小学校	10	10			
	中学校	6	6			
達成率(%)		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		「主体的・対話的で深い学び」の授業改善の実現に向けて、外部講師を招聘するなどし、各校での校内研究の充実を図っている。また、その内容を共有することで、全体の教育活動の充実に向け取り組んでいる。				
8. 備 考						
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	—			
		政策(節)	—			
		施策(項)	—			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	3 教育環境の整備	担当課等名	学校教育課			
2. 施策の基本的方向	1 学校教育の充実					
3. 事業名	50 教育コンピュータ活用事業(小学校・中学校)					
4. 事業内容	<p>令和2年度:情報活用能力を育成するために、教育用コンピュータの活用を図り、今後のICTを活用した教育充実のために整備を推進していく。</p> <p>令和3年度以降:学習指導要領で求められている情報活用能力を育成するために、ICT機器を活用した教育が充実できるよう、ICT機器の整備を推進していく。</p>					
5. 事業番号(再掲含む)	50					
6. 現状と課題	<p>小中学校のコンピュータ教室に、児童生徒1人1台のコンピュータを整備し、情報化に対応した教育の充実を図ってきたところだが、GIGAスクール構想によって、児童・生徒一人ひとりにタブレット端末が導入されることとなった。これを受けて、タブレット端末を授業の中で効果的に活用できるよう、ソフト面・ハード面でのICT機器の充実を図る。</p>					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標	<p>R2年度:①ICT機器等の利活用率=PC関連授業数/総授業数</p> <p>R3年度以降:②普通教室への情報化対応機器(実物投影机1台とプロジェクター1台)の整備率(%)</p>					
	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	①(%)	30	/	/	/	/
	②(%)	100	100	100	100	100
実績値	①(%)	22	/	/	/	/
	②(%)	39	45	/	/	/
達成率(%)		73.3	/	/	/	/
		39.0	45.0	0.0	0.0	0.0
評価		B	A			
<p>A :目標達成・目標に向けて順調</p> <p>B :目標に向けて遅延</p> <p>C :未実施・廃止の方向</p>						
今後の方向性		1:拡大	1:拡大			
<p>1:拡大 4:縮小</p> <p>2:維持 5:終了</p> <p>3:改善 6:廃止</p>						
評価の理由		<p>GIGAスクール構想において導入されたタブレットを効果的に活用するためには、ICT周辺機器の整備は必須である。引き続き普通教室に情報化対応機器を整備することができるよう取り組む。</p>				
8. 備 考		<p>令和元年度からGIGAスクール構想に伴い、児童・生徒一人一台のタブレットを導入することになり、令和3年度事業より事業内容及び指標の変更をした。なお、情報化対応機器の整備については、令和4年度に視認性の良い大型モニターの配備を行っていく予定であることから、令和4年度以降は指標②の()は削除して表記する。</p>				
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	1 まちづくりの原動力となるひとづくり			
		政策(節)	1 子育て・子育て・教育の推進			
		施策(項)	3 学校教育の推進			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	3 教育環境の整備	担当課等名	学校教育課			
2. 施策の基本的方向	1 学校教育の充実					
3. 事業名	51 教育相談事業					
4. 事業内容	不登校や様々な問題を抱えている家庭に対して、相談指導教室専任教員、心理士、訪問相談員、学生相談員等による相談活動を行い、児童・生徒及び保護者の心の安定を図り、よりよい学校生活を送らせるために支援を行う。					
5. 事業番号(再掲含む)	51	69				
6. 現状と課題	相談内容が多様化してきており、よりきめ細かい対応が求められている。不登校の数は中学校になると増加している。小学校高学年段階から中学校段階に向けた、きめ細かいケアが必要である。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		児童・生徒、保護者からの寒川町相談指導教室、教育研究室への相談対応率				
	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	%	100	100	100	100	100
実績値	%	100	100			
達成率(%)		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		相談指導教室専任教員、心理士、巡回相談員、訪問相談員、学生相談員等でチームを組み、連携しながら支援を行っている。また、必要に応じて、中央児童相談所相談員とも連携し、「つながらない子0」を目標に、教育相談を行った。また、保護者にも寄り添った支援を行うことができた。				
8. 備 考		平成30年度 3899件 令和元年度 3494件 令和2年度 3340件 令和3年度 3227件				
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	—			
		政策(節)	—			
		施策(項)	—			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	3 教育環境の整備	担当課等名	学校教育課			
2. 施策の基本的方向	1 学校教育の充実					
3. 事業名	52 教職員の資質向上事業					
4. 事業内容	児童・生徒の「生きる力」を育成するため、指導する教職員の資質向上を図る。(町研修会及び教育研究員研究会の充実を図る。)					
5. 事業番号(再掲含む)	52					
6. 現状と課題	学習指導要領が改訂され、完全実施となっている中で、急速に進展し続ける社会からは、児童生徒の21世紀を生き抜くための力の育成が求められており、学校に期待される役割と教員に求められる資質能力の向上は重要である。今後も教職員が「学び続ける」ためには、学校教育を取り巻く喫緊の課題に対する研究や実践的指導力の向上のための研修を継続および充実させる必要がある。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		教職員研修会、教育講演会、教育研究員研究会の参加人数				
	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	人	550	550	550	550	550
実績値	人	58	104			
達成率(%)		10.5	18.9	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		B	B			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性 1: 拡大 4: 縮小 2: 維持 5: 終了 3: 改善 6: 廃止		2: 維持	2: 維持			
評価の理由		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、教職員研修会は1回のみで開催となった。また教育研究員研究会は2部会、少人数での形式として開催することができた。				
8. 備 考						
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	1 まちづくりの原動力となるひとづくり			
		政策(節)	1 子育て・子育て・教育の推進			
		施策(項)	3 学校教育の推進			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	3 教育環境の整備	担当課等名	教育政策課		
2. 施策の基本的方向	2 幼児教育の充実				
3. 事業名	53 子ども読書ふれあい事業				
4. 事業内容	未就学児と保護者等を対象の「おはなし会」や、乳幼児と保護者を対象の「おひざにだっこのおはなし会」を開催し、幼児期から本に親しむことができる機会を提供する。				
5. 事業番号(再掲含む)	53				
6. 現状と課題	「おはなし会」を毎週土曜日、「おひざにだっこのおはなし会」を毎月第1日曜日、第4水曜日の月2回実施。参加者も多く、定着が図られている。乳幼児期から本に親しむ機会づくりのため、ボランティアの協力も得ながら、今後とも積極的に開催する。				
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		実施回数 事業参加人数			
指 標の名称(単位)	数 値				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	回	60	60	60	60
	人	1,200	1,200	1,200	1,200
実績値	回	11	27		
	人	73	238		
達 成 率 (%)		18.3	45.0	0.0	0.0
		6.1	19.8	0.0	0.0
評価					
A : 目標達成・目標に向けて順調		B	B		
B : 目標に向けて遅延					
C : 未実施・廃止の方向					
今後の方向性					
1: 拡大 4: 縮小					
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持		
3: 改善 6: 廃止					
評価の理由		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、土曜日おはなし会、おひざにだっこのおはなし会は事前申込制で定員を設けて実施した。今後も状況を見ながら、開催方法の工夫をして事業を継続する			
8. 備 考	令和2年度担当課等: 教育総務課				
9. 総合計画2040での位置付け	基本目標(章)	—			
	政策(節)	—			
	施策(項)	—			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	3 教育環境の整備	担当課等名	学び推進課		
2. 施策の基本的方向	3 家庭や地域の教育力の向上				
3. 事業名	56 青少年指導員活動事業				
4. 事業内容	青少年指導員を置き、学校及び子ども会その他関係機関との連携により青少年の健全育成を行う。				
5. 事業番号(再掲含む)	56				
6. 現状と課題	研修等を行い青少年指導員の更なる資質向上を図る。				
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		会議や研修に参加した人数			
指標の名称(単位)	数 値				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	人 20	20	20	20	20
実績値	人 18	18			
達成率(%)	90.0	90.0	0.0	0.0	0.0
評価 A : 目標達成・目標に向けて順調 B : 目標に向けて遅延 C : 未実施・廃止の方向	B	B			
今後の方向性 1: 拡大 4: 縮小 2: 維持 5: 終了 3: 改善 6: 廃止	2: 維持	2: 維持			
評価の理由	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、会議や研修の大半を中止としたため。				
8. 備 考	令和2年度担当課等: 保育・青少年課				
9. 総合計画2040での位置付け	基本目標(章)	1 まちづくりの原動力となるひとづくり			
	政策(節)	1 子育て・子育て・教育の推進			
	施策(項)	2 子どもの育ち・発達の支援			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	3 教育環境の整備	担当課等名	学び推進課			
2. 施策の基本的方向	3 家庭や地域の教育力の向上					
3. 事業名	57 さむかわゆうゆう学園事業					
4. 事業内容	地域で子どもを育てていくことが大切なものとなってきたことから、公民館等で行っている子ども向け事業を「ゆうゆう学園」として体系化、週末を利用した子ども達の体験活動を推進する。					
5. 事業番号(再掲含む)	57					
6. 現状と課題	各課協力の下、ゆうゆう学園対象事業を拡大していく。 周知に力を入れ、各年度の修了証申請者数の増を目指す。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		ゆうゆう学園対象事業に通算10回の参加者に対する修了証の交付者数				
計画値	指標の名称(単位)	数 値				
	人	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	人	40	40	40	40	40
		5	18			
達成率(%)		12.5	45.0	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		B	B			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小		2: 維持	2: 維持			
2: 維持 5: 終了						
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		新型コロナウイルス感染症の影響を受け、講座が中止や縮小となったことなどにより参加の機会が減少し、ゆうゆう学園修了証申請者数が計画値に届かず伸び悩んでいるため。				
8. 備 考		令和2年度担当課等: 協働文化推進課				
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	1 まちづくりの原動力となるひとづくり			
		政策(節)	2 生涯を通じた学びと自己実現の促進			
		施策(項)	2 生涯学習・地域文化の推進			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	4 子育てを支援する生活環境の整備	担当課等名	福祉課		
2. 施策の基本的方向	1 バリアフリーのまちづくり				
3. 事業名	58 公共施設バリアフリー化の情報提供				
4. 事業内容	公共施設のバリアフリー化を推進するための情報提供を行う。				
5. 事業番号(再掲含む)	58				
6. 現状と課題	公共施設のバリアフリー化を推進するための情報提供を行う。				
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		国・県から法改正等の情報提供があった場合に、町から関係機関等へ周知しているため、町での指標の設定はできない。			
	指標の名称(単位)	数 値			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画値					
実績値					
達成率(%)					
評価					
A : 目標達成・目標に向けて順調					
B : 目標に向けて遅延					
C : 未実施・廃止の方向					
今後の方向性					
1: 拡大 4: 縮小					
2: 維持 5: 終了					
3: 改善 6: 廃止					
評価の理由					
8. 備 考					
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	—		
		政策(節)	—		
		施策(項)	—		

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	4 子育てを支援する生活環境の整備	担当課等名	道路課			
2. 施策の基本的方向	1 バリアフリーのまちづくり					
3. 事業名	59 道路歩道等整備事業					
4. 事業内容	歩行者の安全対策を目的にした歩道整備や未舗装道路の道路改良を行い、安全で快適な生活を確保する。					
5. 事業番号(再掲含む)	59					
6. 現状と課題	緊急度の高い路線の歩道整備を推進するための事業費の確保、また、県道410号湘南台大神線の進捗に併せ、宮山倉見13号線、宮山50号線外の用地測量や用地取得等を進め整備(工事)していく必要がある。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		歩道設置及び未舗装道路整備延長				
	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	m	145	125	75	76	172
実績値	m	609	321			
達 成 率 (%)		420.0	256.9	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		R3年9月補正にて、未舗装道路の要望を行い、事業を進めることができた。				
8. 備 考						
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	5 時代に最適化したにぎわいのあるまちづくり			
		政策(節)	1 都市インフラの最適化			
		施策(項)	1 道路の整備			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	4 子育てを支援する生活環境の整備	担当課等名	都市計画課		
2. 施策の基本的方向	1 バリアフリーのまちづくり				
3. 事業名	60 JR相模線倉見駅バリアフリー整備事業				
4. 事業内容	子ども、子ども連れの親が安心して鉄道駅を利用できるよう、エレベーターの設置や多機能トイレを整備し、駅施設の利便性・安全性向上を図る必要があることから、事業実施主体であるJRと適宜協議をう。				
5. 事業番号(再掲含む)	60				
6. 現状と課題	寒川町内で鉄道駅は3駅(寒川駅、宮山駅、倉見駅)中、バリアフリー化が図られていない駅は倉見駅のみである。 バリアフリー化にあたっては、地方公共団体から鉄道事業者への支援が必要となる。				
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		寒川町内の駅バリアフリー対策率 (バリアフリー化済駅数/全駅数)			
指標の名称(単位)	数 値				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	%	100			
実績値	%	100			
達成率(%)		100.0			
評価		A			
A : 目標達成・目標に向けて順調					
B : 目標に向けて遅延					
C : 未実施・廃止の方向					
今後の方向性		5: 終了			
1: 拡大 4: 縮小 2: 維持 5: 終了 3: 改善 6: 廃止					
評価の理由		倉見駅のバリアフリー化について、JR東日本横浜支社と協議を行い、令和3年3月でJRによるエレベータ設置工事が完了した。			
8. 備 考		令和2年度で事業終了			
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	5 時代に最適化したにぎわいのあるまちづくり		
		政策(節)	1 都市インフラの最適化		
		施策(項)	2 公共交通網の整備		

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	4 子育てを支援する生活環境の整備	担当課等名	都市計画課			
2. 施策の基本的方向	2 安全・安心まちづくり					
3. 事業名	61 住環境整備推進事業					
4. 事業内容	良質な賃貸住宅を探している人に公的住宅募集情報を提供するとともに、良好な居住環境の形成に向けた情報提供を行う。 また、同時に高齢者、障害者、外国人、子育て世帯の入居を受け入れる民間賃貸住宅(安心賃貸住宅)の情報提供を行う。					
5. 事業番号(再掲含む)	61					
6. 現状と課題	公的優良住宅募集情報を窓口にて配布。 多くの人に、情報提供できるようにしていく必要がある。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		公的賃貸住宅入居募集情報(あんしん賃貸住宅を含む)の提供				
指 標の名称(単位)	数	値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	回	6	6	6	6	6
実績値	回	4	4			
達 成 率 (%)		66.7	66.7	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		神奈川県居住支援協議会作成の「かながわ住まいの情報誌」を町民窓口課、福祉課、高齢介護課、町民協働課及び都市計画課で配布。 神奈川県内の公益性の高い賃貸住宅の入居募集情報や物件の概要を集約して提供。				
8. 備 考						
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	—			
		政策(節)	—			
		施策(項)	—			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	4 子育てを支援する生活環境の整備	担当課等名	都市計画課		
2. 施策の基本的方向	2 安全・安心まちづくり				
3. 事業名	62 公共交通充実促進事業				
4. 事業内容	子ども、子ども連れの親が安心して路線バス等を利用できる環境を維持できるよう、イベント時に運行車両の展示を行うなど、路線バス等の認知度向上を図る。				
5. 事業番号(再掲含む)	62				
6. 現状と課題	路線バス等は利用者が少ないと収益が出ず、減便の可能性がある。 路線バス等の利用増には、まずは多くの人に知ってもらい、身近に感じてもらう必要がある。				
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		運行車両展示回数、施設等でのチラシ配架箇所数			
指標の名称(単位)	数 値				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	回	1	1	1	1
	箇所	9	9	9	9
実績値	回	0	0		
	箇所	12	12		
達成率(%)		0.0	0.0	0.0	0.0
		133.3	133.3		
評価		A	A		
A : 目標達成・目標に向けて順調					
B : 目標に向けて遅延					
C : 未実施・廃止の方向					
今後の方向性		2:維持	2:維持		
1:拡大 4:縮小 2:維持 5:終了 3:改善 6:廃止					
評価の理由		新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言、まん延防止措置等によりイベントが開催されなかったため、運行車両の展示はできなかったが、コミュニティバス及び海老名駅寒川駅間路線バスのチラシの配架は継続し、利用者数も回復傾向にある。			
8. 備 考					
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	5 時代に最適化したにぎわいのあるまちづくり		
		政策(節)	1 都市インフラの最適化		
		施策(項)	2 公共交通網の整備		

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	4 子育てを支援する生活環境の整備	担当課等名	学び推進課 町民安全課			
2. 施策の基本的方向	2 安全・安心まちづくり					
3. 事業名	63 安全・安心パトロール活動の推進					
4. 事業内容	寒川町PTA連絡協議会が実施する「こども110番パトロール」を支援し、青少年指導員によるパトロールを実施する。 防犯アドバイザーと防犯相談員による定期的なパトロールを実施する。					
5. 事業番号(再掲含む)	63					
6. 現状と課題	パトロールの要望のあった箇所を重点的に実施している。 パトロールにあたり、効果的な時間帯や重点地域などを検討する。 さらに犯罪抑止を図るため、青色回転灯を装着した公用車による職員パトロールの実施について検討する。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		青少年指導員:実施回数 防犯アドバイザー:実施日数				
指 標	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	青少年指導員(回)	5	5	5	5	5
	防犯アドバイザー等(日)	230	230	230	230	230
実績値	青少年指導員(回)	0	4			
	防犯アドバイザー等(日)	244	242			
達 成 率 (%)		0.0	80.0	0.0	0.0	0.0
		106.1	105.2	0.0	0.0	0.0
評価						
A :目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B :目標に向けて遅延						
C :未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1:拡大 4:縮小						
2:維持 5:終了		2:維持	2:維持			
3:改善 6:廃止						
評価の理由		計画値で設定した回数は実施できなかったが、町内全域を青色回転灯装備車で青少年指導員とともに愛護パトロールを実施し、青少年の健全育成と非行防止を図ったため。 防犯アドバイザー・防犯相談員によるパトロールは祝日と年末年始を除いてほぼ毎日活動し、学校や教育委員会からの不審者情報があった場所を含めパトロールを実施したこと、継続して実施する必要があることから評価「A」、今後の方向性「2:維持」とした。※土曜日・日曜日も交代で勤務し防犯パトロールを実施していますが、学校は基本お休みのため実績値には含んでいません。				
8. 備 考		令和2年度担当課等:保育・青少年課、町民安全課				
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	1 まちづくりの原動力となるひとづくり、4 安全・安心に暮らせるまちづくり			
		政策(節)	1 子育て・子育て・教育の推進、1 安全・安心の充実			
		施策(項)	2 子どもの育ち・発達の支援、3 交通安全・防犯対策の充実			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	4 子育てを支援する生活環境の整備	担当課等名	町民安全課			
2. 施策の基本的方向	2 安全・安心まちづくり					
3. 事業名	64 交通安全活動事業					
4. 事業内容	交通安全指導や安全教育に関し交通指導員を中心にして推進する。 交通事故から子どもを守るため、新入学児童に黄色い帽子を配布する。 交通事故防止のため、町内各小学校において交通安全教室を開催する。(1年生:道路の通行方法、3年生:自転車の通行方法)					
5. 事業番号(再掲含む)	64					
6. 現状と課題	各小学校へ黄色い帽子の必要性について周知し、着帽率を上げるよう呼びかける。 コロナ禍で中止となった小学校における交通安全教室の実施を検討する。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		交通事故件数(各年とも1～12月末までの数値)				
\	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	件	168	163	158	153	148
実績値	件	132	143			
達成率(%)		78.6	87.7	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		コロナ禍により令和2年度に続き令和3年度も「交通指導員による交通安全教室」は中止としたが、交通事故発生件数が、目標としている計画値を達成したため、評価を「A」とした。 各小学校の新入学児童の黄色い帽子の配布について、学校からも継続要望があることから今後の方向性について「2: 維持」とした。				
8. 備 考		本事業は、達成率が100%以下の場合に目標を達成し、0%に近くなるほど達成度が高い状況となります。				
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	4 安全・安心に暮らせるまちづくり			
		政策(節)	1 安全・安心の充実			
		施策(項)	3 交通安全・防犯対策の充実			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	4 子育てを支援する生活環境の整備	担当課等名	教育政策課		
2. 施策の基本的方向	2 安全・安心まちづくり				
3. 事業名	65 子どもを守るための活動の推進				
4. 事業内容	子どもの防犯意識の高揚に努める他、関係団体が実施する「ハートの家」事業等を支援する。				
5. 事業番号(再掲含む)	65				
6. 現状と課題	「ハートの家」事業は、社会教育関係補助団体である寒川町PTA連絡協議会がステッカーを作成し、小学校単位PTAごとで地域に設置依頼を行っている。				
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		事業自体は、関係団体が実施しているため、支援のための目標指標は設定しない。			
指標の名称(単位)	数 値				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値					
実績値					
達成率(%)					
評価 A : 目標達成・目標に向けて順調 B : 目標に向けて遅延 C : 未実施・廃止の方向					
今後の方向性 1: 拡大 4: 縮小 2: 維持 5: 終了 3: 改善 6: 廃止					
評価の理由					
8. 備 考	令和2年度担当課等: 教育総務課				
9. 総合計画2040での位置付け	基本目標(章)	—			
	政策(節)	—			
	施策(項)	—			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	4 子育てを支援する生活環境の整備	担当課等名	町民安全課			
2. 施策の基本的方向	2 安全・安心まちづくり					
3. 事業名	66 防犯対策推進事業(小学校)					
4. 事業内容	新1年生に対する防犯ブザーの貸与、教育委員会による子どもの安心・安全を見守る推進委員の活動推進を通して、登下校時の子どもたちの安全確保を図る。					
5. 事業番号(再掲含む)	66					
6. 現状と課題	防犯ブザーのみでは児童の安全が完全に確保されるとは言えないため、引き続き防犯講話等を併せて実施することで、登下校時の安全についての意識高揚、注意喚起を図っていく。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		新1年生への防犯ブザー貸与率				
\	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	%	100	100	100	100	100
実績値	%	100	100			
達成率(%)		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		町教育委員会を通じて町内に在籍する新1年生に対する防犯ブザーの貸与し、登下校時の子どもたちの安全確保の強化を図ることができた。				
8. 備 考	令和2年度担当課等: 学校教育課					
9. 総合計画2040での位置付け	基本目標(章)	4 安全・安心に暮らせるまちづくり				
	政策(節)	1 安全・安心の充実				
	施策(項)	3 交通安全・防犯対策の充実				

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	4 子育てを支援する生活環境の整備	担当課等名	町民安全課			
2. 施策の基本的方向	2 安全・安心まちづくり					
3. 事業名	67 防犯灯整備事業					
4. 事業内容	町内に設置している防犯灯の適正な管理と地域からの要請に基づく計画的な設置を行う。					
5. 事業番号(再掲含む)	67					
6. 現状と課題	夜間の犯罪抑止を図り、安心なまちづくりを推進するため、地域からの要望に基づく設置と町内に設置している防犯灯の適正な管理を行う。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		防犯灯設置件数				
\	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	件	20	20	20	20	20
実績値	件	35	18			
達成率(%)		175.0	90.0	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		地域からの要望等により、防犯灯を適切な箇所に設置できたこと、継続して設置をしていく必要があることから評価「A」、今後の方向性「2: 維持」とした。				
8. 備 考						
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	4 安全・安心に暮らせるまちづくり			
		政策(節)	1 安全・安心の充実			
		施策(項)	3 交通安全・防犯対策の充実			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	4 子育てを支援する生活環境の整備	担当課等名	学び推進課		
2. 施策の基本的方向	2 安全・安心まちづくり				
3. 事業名	68 薬物乱用防止啓発事業				
4. 事業内容	青少年の薬物乱用防止を目的として、関係団体が実施する小中高生を対象とした啓発活動を支援する。				
5. 事業番号(再掲含む)	68				
6. 現状と課題	法律で規制している薬物だけでなく、危険ドラッグなども社会問題となっている。自主講演会や町内の各種イベントに出向き、啓発活動を実施しており、その支援を町が行っている。今後は小学生への積極的な啓発も必要と考える。				
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		事業自体は、青少年環境浄化推進協議会が実施しているため、支援のための目標指標は設定しない。			
指 標の名称(単位)	数 値				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値					
実績値					
達 成 率 (%)					
評価					
A : 目標達成・目標に向けて順調					
B : 目標に向けて遅延					
C : 未実施・廃止の方向					
今後の方向性					
1: 拡大 4: 縮小					
2: 維持 5: 終了					
3: 改善 6: 廃止					
評価の理由					
8. 備 考		令和2年度担当課等: 保育・青少年課			
		令和3年度をもって青少年環境浄化推進協議会が解散しており、令和4年度からは青少年指導員連絡協議会が事業を実施する。			
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	—		
		政策(節)	—		
		施策(項)	—		

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	4 子育てを支援する生活環境の整備	担当課等名	町民窓口課		
2. 施策の基本的方向	2 安全・安心まちづくり				
3. 事業名	71 犯罪被害者等見舞金支給事業				
4. 事業内容	自らの責めに帰すべき事由がないにもかかわらず、人の生命又は身体を害する犯罪行為により、不慮の死を遂げた町民の遺族又は傷害を受けた町民を支援するために見舞金を支給する。また、心のケア等が必要な方に相談窓口等の紹介を行う。				
5. 事業番号(再掲含む)	71				
6. 現状と課題	見舞金制度を設けている市町村は少なく、周知方法については改善の余地がある。				
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		制度の周知回数			
指標の名称(単位)	数 値				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	回 2	2	2	2	2
実績値	回 2	2			
達成率(%)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
評価 A : 目標達成・目標に向けて順調 B : 目標に向けて遅延 C : 未実施・廃止の方向	A	A			
今後の方向性 1: 拡大 4: 縮小 2: 維持 5: 終了 3: 改善 6: 廃止	2: 維持	2: 維持			
評価の理由	ホームページ及びびくらしの便利ガイドへの掲載を行った。				
8. 備 考					
9. 総合計画2040での位置付け	基本目標(章)	—			
	政策(節)	—			
	施策(項)	—			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	4 子育てを支援する生活環境の整備	担当課等名	学び推進課			
2. 施策の基本的方向	3 子どもの遊び場の確保					
3. 事業名	72 ふれあい塾運営事業					
4. 事業内容	学校施設を活用しながら、放課後の小学生の居場所づくり事業の充実を図り、児童の健全育成を推進する。					
5. 事業番号(再掲含む)	72					
6. 現状と課題	ふれあい塾の行き帰りも含め、児童の安全管理を更に図る。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		参加児童数				
計画値	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	人	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
実績値	人	0	0			
達成率(%)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		C	C			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業を中止としたため。				
8. 備 考	令和2年度担当課等: 保育・青少年課					
9. 総合計画2040での位置付け	基本目標(章)	—				
	政策(節)	—				
	施策(項)	—				

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	4 子育てを支援する生活環境の整備	担当課等名	学び推進課			
2. 施策の基本的方向	3 子どもの遊び場の確保					
3. 事業名	73 新・放課後子ども総合プラン推進事業					
4. 事業内容	児童クラブとふれあい塾を連携するため、教育委員会と町長部局とが緊密に連携・協力を図り、関係団体等を含めた体制の構築を図る。					
5. 事業番号(再掲含む)	73					
6. 現状と課題	すべての児童を対象としていくための児童クラブとふれあい塾の連携した取り組みの実現に向け、「放課後子ども総合プラン運営委員会」を中心として、学習支援や体験活動などのプログラム、学校施設の積極的な活用等について協議し、総合的な放課後支援の充実を図ってきたが、町の財政状況を鑑み、今後検討していく。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		一体型児童クラブとふれあい塾開設校区割合				
計画値	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	開設校区割合(%)	100	100	100	100	100
実績値	開設校区割合(%)	100	100			
達成率(%)		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小		1: 拡大	1: 拡大			
2: 維持 5: 終了						
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		町内5小学校区(校地内)全てに児童クラブ及びふれあい塾を設置しているため。				
8. 備 考		令和2年度担当課等: 保育・青少年課				
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	—			
		政策(節)	—			
		施策(項)	—			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	4 子育てを支援する生活環境の整備	担当課等名	都市計画課		
2. 施策の基本的方向	3 子どもの遊び場の確保				
3. 事業名	75 公園整備等事業				
4. 事業内容	各施設の遊具の改良や、公園の整備を図る。				
5. 事業番号(再掲含む)	75				
6. 現状と課題	財政状況が厳しい中で、公園利用者の声を反映した公園整備が必要となっている。また、各公園の遊具については、適切な維持管理を行いながら、各公園の事業に合わせた配置等を検討していく必要がある。				
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		都市公園数			
指標の名称(単位)	数 値				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	箇所 42	42	42	42	42
実績値	箇所 42	42			
達 成 率 (%)		100.0	100.0	0.0	0.0
評価 A : 目標達成・目標に向けて順調 B : 目標に向けて遅延 C : 未実施・廃止の方向		A	A		
今後の方向性 1: 拡大 4: 縮小 2: 維持 5: 終了 3: 改善 6: 廃止		2: 維持	2: 維持		
評価の理由		遊具やベンチ等の公園施設の修繕等各公園の適正な維持管理に努めた。			
8. 備 考					
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	—		
		政策(節)	—		
		施策(項)	—		

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	4 子育てを支援する生活環境の整備	担当課等名	子育て支援課			
2. 施策の基本的方向	3 子どもの遊び場の確保					
3. 事業名	76 児童遊び場の整備					
4. 事業内容	子どもが安心して遊べるような児童遊び場の点検・整備を進める。					
5. 事業番号(再掲含む)	76					
6. 現状と課題	法的な位置づけのない「児童の遊び場」については、遊具の充実は困難な状況となっている。また、遊具が老朽化していることから、修繕や撤去等遊具のあり方について地権者・地域関係者と検討する必要がある。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		安全基準による点検回数、目視等による点検回数				
	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	基準:回	1	1	1	1	1
	目視:回	3	3	3	3	3
実績値	基準:回	1	1			
	目視:回	3	3			
達成率(%)		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
評価		B	B			
A : 目標達成・目標に向けて順調 B : 目標に向けて遅延 C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性		2:維持	2:維持			
1:拡大 4:縮小 2:維持 5:終了 3:改善 6:廃止						
評価の理由		遊具の安全点検を実施した。また、大塚児童遊び場の除草や大曲神社境内のすべり台の修繕を行った。				
8. 備 考						
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	—			
		政策(節)	—			
		施策(項)	—			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	4 子育てを支援する生活環境の整備	担当課等名	学び推進課			
2. 施策の基本的方向	3 子どもの遊び場の確保					
3. 事業名	77 広場等の整備					
4. 事業内容	子どもが安心して遊べるような広場の整備・維持管理を進める。					
5. 事業番号(再掲含む)	77					
6. 現状と課題	子どもが安心して遊べるよう施設の維持管理を実施している。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		目視等による点検回数				
計画値	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目視等による点検回数(回)	12	12	12	12	12
実績値	目視等による点検回数(回)	12	12			
達成率(%)		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
評価 A : 目標達成・目標に向けて順調 B : 目標に向けて遅延 C : 未実施・廃止の方向		A	A			
今後の方向性 1: 拡大 4: 縮小 2: 維持 5: 終了 3: 改善 6: 廃止		2: 維持	2: 維持			
評価の理由		職員が青少年広場に赴いた際は、点検を実施しており、また、随時、委託業者による確認も行ったため。				
8. 備 考	令和2年度担当課等: 保育・青少年課					
9. 総合計画2040での位置付け	基本目標(章)	—				
	政策(節)	—				
	施策(項)	—				

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	5 要支援家庭への取り組み	担当課等名	子育て支援課			
2. 施策の基本的方向	1 児童虐待の防止					
3. 事業名	78 児童虐待防止のネットワーク事業					
4. 事業内容	児童虐待の防止、早期発見、早期対応を目指し、関係機関との連携による児童虐待防止ネットワークを推進し、充実を図る。					
5. 事業番号(再掲含む)	78					
6. 現状と課題	児童虐待防止ネットワークを定期的開催し、ケースごとの対応方法及び予防・自立支援に至るまでを関係団体で協議し対策を行っている。しかし、町が把握していないケースもあると思われ、虐待の防止・予防、早期発見については、地域での協力体制を更に充実していく必要がある。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		①定例会議(代表者会議・実務者会議・援助活動チーム)の開催回数 ②臨時個別ケース検討会の開催回数				
	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	定例会議(回)	13	13	13	13	13
	臨時個別ケース会議(回)	32	33	34	35	36
実績値	定例会議(回)	11	13			
	臨時個別ケース会議(回)	35	24			
達成率(%)		84.6	100.0	0.0	0.0	0.0
		109.4	72.7	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		ネットワーク会議の定期開催により、関係機関で密な連携をとることが可能になっている。また住民に近い視点で支援を行うことにより、虐待の予防、早期発見に努めている。				
8. 備 考						
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	—			
		政策(節)	—			
		施策(項)	—			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	5 要支援家庭への取り組み	担当課等名	子育て支援課		
2. 施策の基本的方向	2 ひとり親家庭への支援				
3. 事業名	82 児童扶養手当				
4. 事業内容	18歳到達年度末までの児童(児童に障がいがある場合は20歳未満)を養育しているひとり親家庭等に手当を支給する。				
5. 事業番号(再掲含む)	82				
6. 現状と課題	実施主体は神奈川県。町は受給資格者から提出された書類の確認と、県との間で書類の経由事務を行う。				
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		受給資格者数(神奈川県所管事業のため、町の裁量による目標設定は不可)			
指標の名称(単位)	数 値				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値					
実績値					
達成率(%)					
評価 A : 目標達成・目標に向けて順調 B : 目標に向けて遅延 C : 未実施・廃止の方向					
今後の方向性 1: 拡大 4: 縮小 2: 維持 5: 終了 3: 改善 6: 廃止					
評価の理由					
8. 備 考					
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	—		
		政策(節)	—		
		施策(項)	—		

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	5 要支援家庭への取り組み	担当課等名	子育て支援課			
2. 施策の基本的方向	2 ひとり親家庭への支援					
3. 事業名	83 ひとり親家庭等医療費助成事業					
4. 事業内容	ひとり親家庭等の人々が病院等を受診したときに支払う医療費のうち、保険診療分の自己負担額を助成する。(所得制限有り)					
5. 事業番号(再掲含む)	83					
6. 現状と課題	財政状況及び近隣他市町の動向を踏まえながら、一部負担金の導入について検討が必要(神奈川県補助事業。県は平成21年1月から一部負担金を導入)。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		助成対象者数				
計画値	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	人	900	900	900	900	900
実績値	人	852	831			
達成率(%)		94.7	92.3	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		ひとり親家庭への医療費負担を軽減することで、ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援することができた。				
8. 備 考						
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	—			
		政策(節)	—			
		施策(項)	—			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	5 要支援家庭への取り組み	担当課等名	子育て支援課			
2. 施策の基本的方向	2 ひとり親家庭への支援					
3. 事業名	84 各種制度・講座等の情報提供					
4. 事業内容	ひとり親家庭、生活困難、養育困難な家庭向けの各種制度や講座等の情報提供を行う。					
5. 事業番号(再掲含む)	84					
6. 現状と課題	申請主義となっているため、対象者への周知徹底が重要となる。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		広報掲載回数				
\	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	回	2	2	2	2	2
実績値	回	2	2			
達成率(%)		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		引き続き対象者への周知徹底を継続していく。				
8. 備 考						
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	—			
		政策(節)	—			
		施策(項)	—			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	5 要支援家庭への取り組み	担当課等名	子育て支援課 神奈川県			
2. 施策の基本的方向	2 ひとり親家庭への支援					
3. 事業名	86 母子父子家庭支援相談会					
4. 事業内容	児童扶養手当現況届提出期間中に日程を設けて、県保健福祉事務所の相談員による生活相談を開催する。					
5. 事業番号(再掲含む)	86					
6. 現状と課題	貸付や進学の相談が多く、県保健福祉事務所の相談につながっている。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		相談主訴への対応率				
\	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	%	100	100	100	100	100
実績値	%	100	100			
達 成 率 (%)		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		児童扶養手当現況届の際に、県保健福祉事務所による生活相談を開催し、様々な不安や悩みを抱えるひとり親家庭への支援を行った。				
8. 備 考						
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	—			
		政策(節)	—			
		施策(項)	—			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	5 要支援家庭への取り組み	担当課等名	福祉課			
2. 施策の基本的方向	3 障がい児施策の充実					
3. 事業名	87 重度障害者等医療費助成事業					
4. 事業内容	重度障がい者等の健康維持、福祉の増進を図るため、重度障がい者等の医療費の自己負担額を助成し、本人や家族の経済的負担を軽減する。					
5. 事業番号(再掲含む)	87					
6. 現状と課題	対象者のほとんどが重度障害者であり、生命に係わる事業のため必要不可欠と考えるが、町の財政状況や他市町村の動向に注視していく。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		給付率(申請に対する給付率)				
	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	%	100	100	100	100	100
実績値	%	100	100			
達 成 率 (%)		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		令和3年度の対象者は710人、助成件数は18,518件で、全対象者に給付することができているため。				
8. 備 考						
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	—			
		政策(節)	—			
		施策(項)	—			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	5 要支援家庭への取り組み	担当課等名	福祉課 神奈川県		
2. 施策の基本的方向	3 障がい児施策の充実				
3. 事業名	88 障害児福祉手当				
4. 事業内容	障がい児に手当を支給し、対象者の福祉の向上に寄与する。				
5. 事業番号(再掲含む)	88				
6. 現状と課題	町は、申請書受付事務に関する経由事務のみを行っている。				
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		神奈川県所管のため指標の設定なし			
指標の名称(単位)	数 値				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値					
実績値					
達成率(%)					
評価 A : 目標達成・目標に向けて順調 B : 目標に向けて遅延 C : 未実施・廃止の方向					
今後の方向性 1: 拡大 4: 縮小 2: 維持 5: 終了 3: 改善 6: 廃止					
評価の理由					
8. 備 考					
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	—		
		政策(節)	—		
		施策(項)	—		

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	5 要支援家庭への取り組み	担当課等名	子育て支援課		
2. 施策の基本的方向	3 障がい児施策の充実				
3. 事業名	89 特別児童扶養手当				
4. 事業内容	日常生活に著しい制限を受ける障がい状態にある児童を監護している父母、もしくは養育している養育者に対し手当を支給する。				
5. 事業番号(再掲含む)	89				
6. 現状と課題	実施主体は神奈川県。町は受給資格者から提出された書類の確認と、県との間で書類の経由事務を行う。				
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)					
指 標		神奈川県所管のため指標の設定なし			
指標の名称(単位)	数 値				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値					
実績値					
達 成 率 (%)					
評価 A : 目標達成・目標に向けて順調 B : 目標に向けて遅延 C : 未実施・廃止の方向					
今後の方向性 1: 拡大 4: 縮小 2: 維持 5: 終了 3: 改善 6: 廃止					
評価の理由					
8. 備 考					
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	—		
		政策(節)	—		
		施策(項)	—		

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	5 要支援家庭への取り組み	担当課等名	子育て支援課			
2. 施策の基本的方向	3 障がい児施策の充実					
3. 事業名	92 児童発達支援事業					
4. 事業内容	障がい児の日常生活における基本的動作の指導、集団生活への適応訓練等を行う。また、乳幼児の発達に関して療育相談を実施する。					
5. 事業番号(再掲含む)	92					
6. 現状と課題	ひまわり教室を継続するとともに、町の児童発達支援事業のあり方について今後検討する必要がある。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		通園児童数				
指標の名称(単位)	数	値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	人	20	20	20	20	20
実績値	人	24	21			
達成率(%)		120.0	105.0	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性						
1: 拡大 4: 縮小						
2: 維持 5: 終了		2: 維持	2: 維持			
3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		町内在住の発達に心配のある幼児に対する療育支援サービス利用希望者の受け入れを行った。				
8. 備 考						
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	—			
		政策(節)	—			
		施策(項)	—			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	5 要支援家庭への取り組み	担当課等名	学校教育課			
2. 施策の基本的方向	3 障がい児施策の充実					
3. 事業名	93 特別支援教育推進事業(小学校・中学校)					
4. 事業内容	特別支援学級に補助員を派遣するとともに、通常学級に在籍する児童の校外学習や遠足等の行事に介助員を派遣する。加えて、小学校には特別な支援を要する児童のために、町内全小学校に「ふれあい教育支援員」を配置し、学習支援を行う。					
5. 事業番号(再掲含む)	93					
6. 現状と課題	障がいは多様化、重度化している。そのため、支援員や補助員の増員を検討する必要がある。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		特別支援学級の担当者(補助員を含む)一人あたりが受け持つ児童・生徒数(人)				
	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	人	2	2	2	2	2
実績値	人	2	2			
達成率(%)		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性 1: 拡大 4: 縮小 2: 維持 5: 終了 3: 改善 6: 廃止		1: 拡大	1: 拡大			
評価の理由		小・中学校の全校に、特別支援学級補助員を派遣した。 また、昨年度は小学校の運動会と校外学習における介助員の派遣を2件行った。 特別支援学級の児童・生徒が年々増加傾向にある。通常学級も支援を要する児童・生徒が増加していることから、今後も計画的に補助員の増加をしていく必要がある。				
8. 備 考						
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	—			
		政策(節)	—			
		施策(項)	—			

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	5 要支援家庭への取り組み	担当課等名	学校教育課			
2. 施策の基本的方向	3 障がい児施策の充実					
3. 事業名	94 特別支援学級へのタブレット端末の配置					
4. 事業内容	特別な配慮を必要とする児童・生徒に対し、個のニーズに応じた学習の充実を図るため、未設置の学校に順次、タブレット端末を配置する。					
5. 事業番号(再掲含む)	94					
6. 現状と課題	GIGAスクール構想に伴い、R3年3月までに町内8校すべてに、一人一台の端末が導入された。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		タブレット端末の配置率＝タブレット端末配置数／担当者数(支援員を含む)				
\	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	%	100				
実績値	%	100				
達成率(%)		100.0				
評価		A				
A : 目標達成・目標に向けて順調 B : 目標に向けて遅延 C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性		5: 終了				
1: 拡大 4: 縮小 2: 維持 5: 終了 3: 改善 6: 廃止						
評価の理由		GIGAスクール構想により、児童・生徒に一人一台のタブレットが導入されたため。				
8. 備 考	令和2年度で事業終了					
9. 総合計画2040での位置付け	基本目標(章)	—				
	政策(節)	—				
	施策(項)	—				

子ども・子育て支援事業計画進行管理票

1. 基本目標	5 要支援家庭への取り組み	担当課等名	学校教育課			
2. 施策の基本的方向	3 障がい児施策の充実					
3. 事業名	95 インクルーシブ教育の推進					
4. 事業内容	障がいのあるなしにかかわらず、すべての児童・生徒が共に学び共に育つ学習機会の充実を図る。					
5. 事業番号(再掲含む)	95					
6. 現状と課題	特別支援学級を全校に設置し、支援を要する児童・生徒に対する個に応じた支援・学習の充実を図ってきた。今後は、インクルーシブの観点を取り入れながら、すべての児童・生徒が共に学ぶ学習活動を充実していく必要がある。					
7. 年次計画(指標、計画値、実績値、評価、今後の方向性)						
指 標		特別支援学級在籍児童・生徒や支援を要する児童・生徒も含めた、共に学ぶ学習活動の実施校数				
	指標の名称(単位)	数 値				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画値	校	8	8	8	8	8
実績値	校	8	8			
達成率(%)		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
評価						
A : 目標達成・目標に向けて順調		A	A			
B : 目標に向けて遅延						
C : 未実施・廃止の方向						
今後の方向性 1: 拡大 4: 縮小 2: 維持 5: 終了 3: 改善 6: 廃止		2: 維持	2: 維持			
評価の理由		町内小・中学校8校全てに特別支援学級を配置しており、各校にて、児童・生徒の教育的ニーズに合わせた対応を丁寧に行っている。 また、通常学級に在籍し、支援を要する児童・生徒も共に学習ができるように、ふれあい教育支援員を活用した。				
8. 備 考						
9. 総合計画2040での位置付け		基本目標(章)	—			
		政策(節)	—			
		施策(項)	—			